



目次

1. ごあいさつ
2. 大会概要
3. 実行委員会組織図
4. 大会運営組織図
5. 実行委員会運営委員名簿
6. 各種企画報告
 - 1) 東西王座決定戦競技結果
 - 2) Right-on つくばスタイルカップバレー2008 競技結果
 - 3) 2008SAKAI OVEX ジャパンアスリートマッチ - VOLLEYBALL -
 - 4) コカ・コーラスポーツスクエアガーデン
7. 実行委員会決算報告及び経営報告
8. 実行委員会各セクション運営
 - 1) 総合戦略
 - 2) プロモーション戦略
 - 3) 企画戦略（インカレ・センターコート）
 - 4) 企画戦略（コカ・コーラスポーツスクエアガーデン）
 - 5) 企画戦略（ファーストステージスペシャル）
 - 6) 企画戦略（オークラ・スポーツピアガーデン）
 - 7) Sun GAIA station
9. アンケート調査及び各種誘発効果
 - 1) プロモーション効果
 - 2) ブランドエッセンス浸透効果
 - 3) 社会効果
 - 4) 経済効果
 - 5) ブランディング効果
10. 2008 東西インカレ開催及び運営総評 2008 夏 東西インカレ、一過性から持続性へ・・・
11. 実行委員会全名簿



1. ごあいさつ

2008 東西インカレバレーボール男子王座決定戦 in つくばを終えて トーナメントディレクター 都澤 凡夫

今年で5回目になるつくば市でのイベント「2008 東西インカレバレーボール男子王座決定戦 in つくば」は、7月25、26、27日にわたりつくばカピオ、つくば市桜総合体育館を中心に「夏はつくばで！！つくばスタイル・スポーツを楽しもう！」をテーマに開催されました。

西日本大学選手権のベスト4（東亜大学、大阪産業大学、福岡大学、関西学院大学）と東日本大学選手権のトップ3（東海大学、中央大学、国士舘大学）に開催地枠で出場する筑波大学を加えた東西の強豪大学8チームを迎え、上半期の大学日本一を決定する大会は大いに盛り上がりました。決勝戦の東海大学と中央大学の熱戦の最中に、屋外は猛烈な雷雨で突然体育館が停電し、試合が中断するというハプニングがありました。しかし皆様の御陰で、大会が成功裡に終了できましたことを心から感謝申し上げます。

「バレーボールの普及・強化のイベント」という従来のビジョンを越え、「人・社会・街」をみんなの手で、産学官民が連携してイベントを創り上げていくというつくばスタイルの挑戦は今年も継続しました。来場された観客ができる限り楽しめるように、ダンスショーやファッションショーのブース、飲食を楽しむフードパーク、スポーツを楽しむスポーツスクエアガーデン、そして遠来の皆様と交流を深めるために欽ちゃん球団で有名な野球チーム「茨城ゴールデンゴールズ」がホストをするオークラ・スポーツビアガーデン等を準備しました。

センターコートでは大学生の熱気溢れる試合を中心に、筑波大学発のVリーガーによるオールスター戦（かつての全日本代表の青山選手も参戦）、Vプレミアリーグ女子のNECレッドロケッツ対武富士バンブー戦も実現しました。試合間には、水海道小学校マーチングバンド、つくばオールスターチア、筑波大学体操部、体操競技部等に日ごろ鍛えた素晴らしい演技を披露し会場を盛り上げていただきました。協力していただいた団体はつくば市、筑波大学を含め94団体に上ります。

来年の大会は西日本になりますが、再来年度もつくば市での開催が決定しています。この挑戦がさらに発展し、「つくばモデル」が大きな波紋となって日本国中に広がることを期待しています。

最後に、全日本学生バレーボール連盟の市川伊三夫会長、つくば市の市原健一市長をはじめ教育委員会、スポーツ振興課、体育協会の皆様、筑波大学の岩崎洋一学長、阿江通良体育専門学群長をはじめ大学関係者の皆様、つくば市商工会、ホテル組合、この大会に賛同して下さった関係各位、そして大会の企画に半年前から関わっていただいたスタッフ、運営に携わって下さった全ての団体、スタッフ、選手、観客の皆様に衷心より御礼申し上げます。

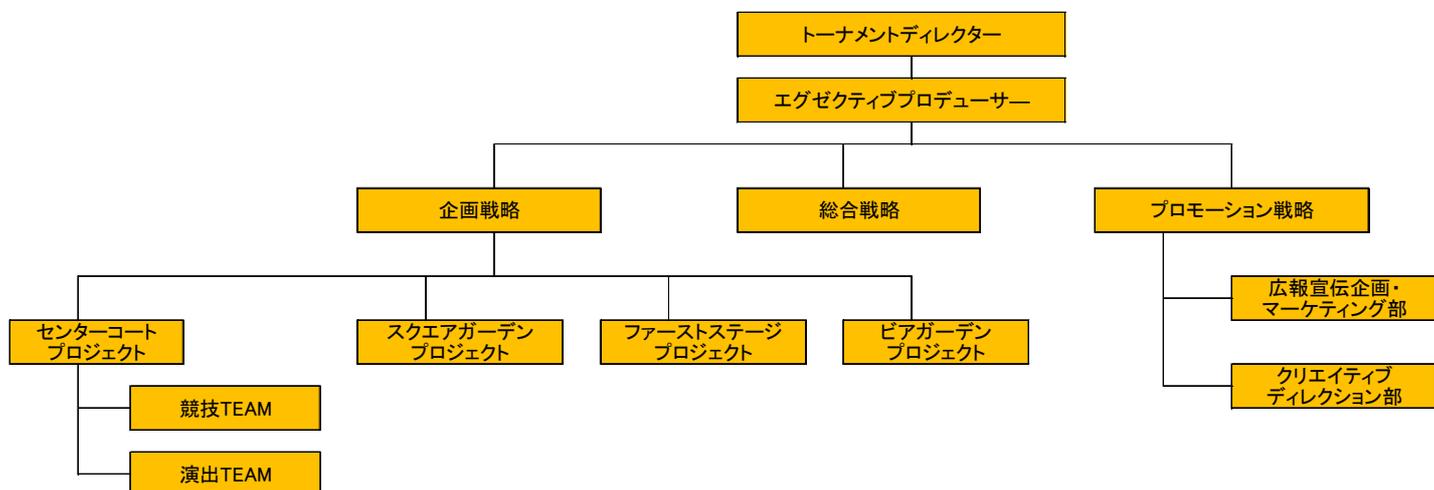


2. 大会概要

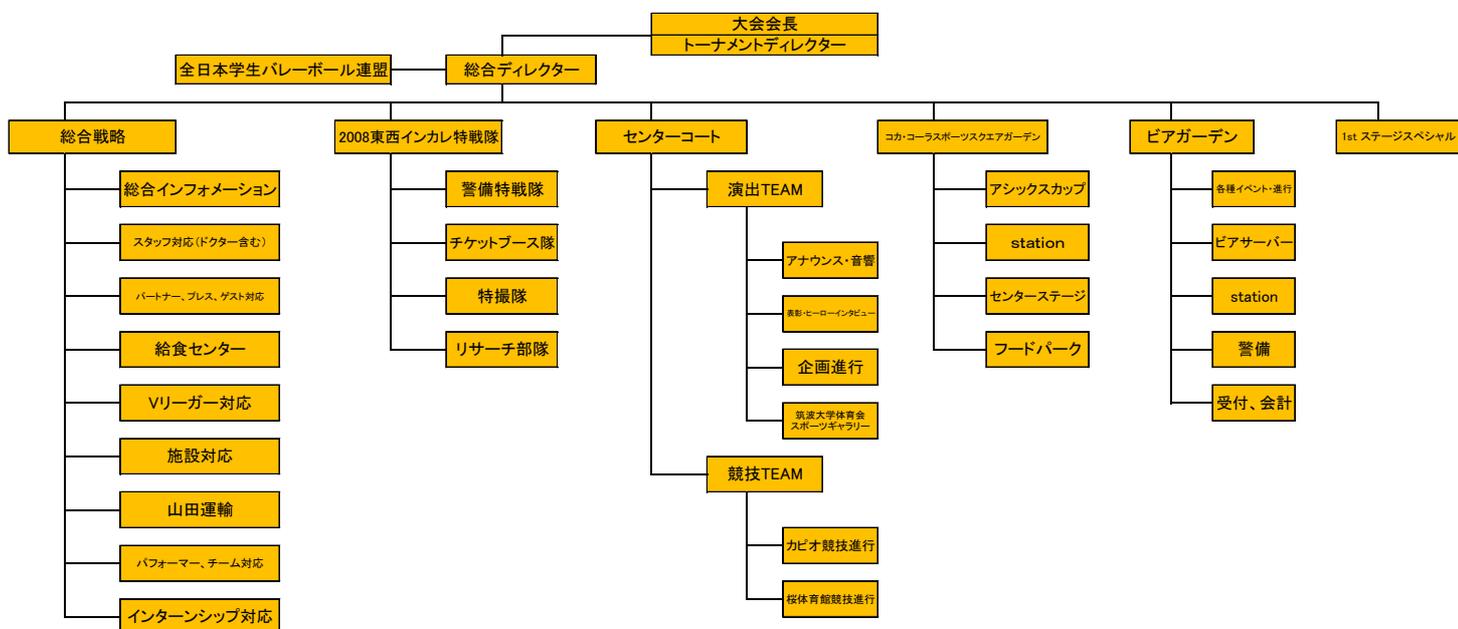
名称	2008 東西インカレバレーボール男子王座決定戦 in つくば —繋ぎの神髄 さらなる深化へ—
主催	全日本大学バレーボール連盟 財団法人日本バレーボール協会
主管	2008 東西インカレ実行委員会 つくばユナイテッド VOLLEYBALL
共催	つくば市 筑波大学 つくば市商工会 つくばユナイテッド つくば市教育委員会
後援	つくば市体育協会 つくば市バレーボール連盟 つくばみらい市教育委員会
協賛	株式会社ライトオン 利根コカ・コーラボトリング株式会社 サカイオーベックス株式会社 GALLERY・2 株式会社アシックス 株式会社モルテン アルケア株式会社 和興通信工業株式会社 池田スポーツ 有限会社池田造園土木 小林公認会計士事務所 三友株式会社 タナカ物流株式会社 株式会社ヌーベル ホテル松島 株式会社総合印刷新報社 株式会社コンダクト 有限会社中山造園 建設 大久保歯科医院 ホテルグランド東雲 有限会社モリ 医療法人 筑波記念会 筑波記念病院 株式会社サンヨーホーム より味ち 有限会社市村鍼灸治療院 学園手造りハムの会 医療法人 健 佑会 いちはら病院 株式会社ワンダーコーポレーション 株式会社ケイ・アイデザイン プルデンシ ヤル生命保険株式会社 石岡市つくばねオートキャンプ場 有限会社ミリオンコーポレーション 有 限会社梅のやフードサービス 有限会社蔵人 株式会社イセブ 株式会社つくばユーワールド 株式 会社チクセイ二十一 有限会社根本運送 有限会社シバサイン 株式会社坂東太郎
特別協賛	つくばエクスプレス 関東鉄道株式会社 ゼビオ株式会社 寺島薬局株式会社 オークラフロンテ ィアホテルつくば 関彰商事株式会社 前田印刷株式会社 株式会社タカキベーカリー つくばシ ティロータリークラブ 合資会社 浦里酒造所 石工房 和 つくば商業開発株式会社 株式会社い いじま 茨城県ホテル旅館生活衛生共同組合つくば支部 株式会社幸和義肢研究所 筑波山温泉供 給株式会社 テクノパーク豊里工業用水道運営協議会 松下電器産業株式会社 株式会社ブレイザ ーズスポーツクラブ
特別協力	NPO 法人 Dance Association Seeds 茨城ゴールデンゴールズ 東レアローズ パナソニックパン サーズ 豊田合成トレフェルサ NEC ブルーロケッツ NEC レッドロケッツ 武富士バンブー
協力	アクティブつくば 筑波大学蹴球部 筑波大学硬式野球部筑波大学柔道部 筑波大学体操部 つく ばインターナショナルナーサリースクール CYCLONES 常総学院チアリーダー部 つくばオー ルスターチア 吉沼保育園 筑波大学ダンス部 OG 筑波大学舞踏研究会 ディアナ新体操クラブ 筑波大学ときめき太鼓塾 フラ・ローズの会 筑波大学・筑波学院大学フラメンコ同好会～ロサ・ロ ハ～ 水海道ジュニアマーチングバンド ふれ愛ソーラン B-G☆college



3. 実行委員会組織図



4. 大会運営組織図





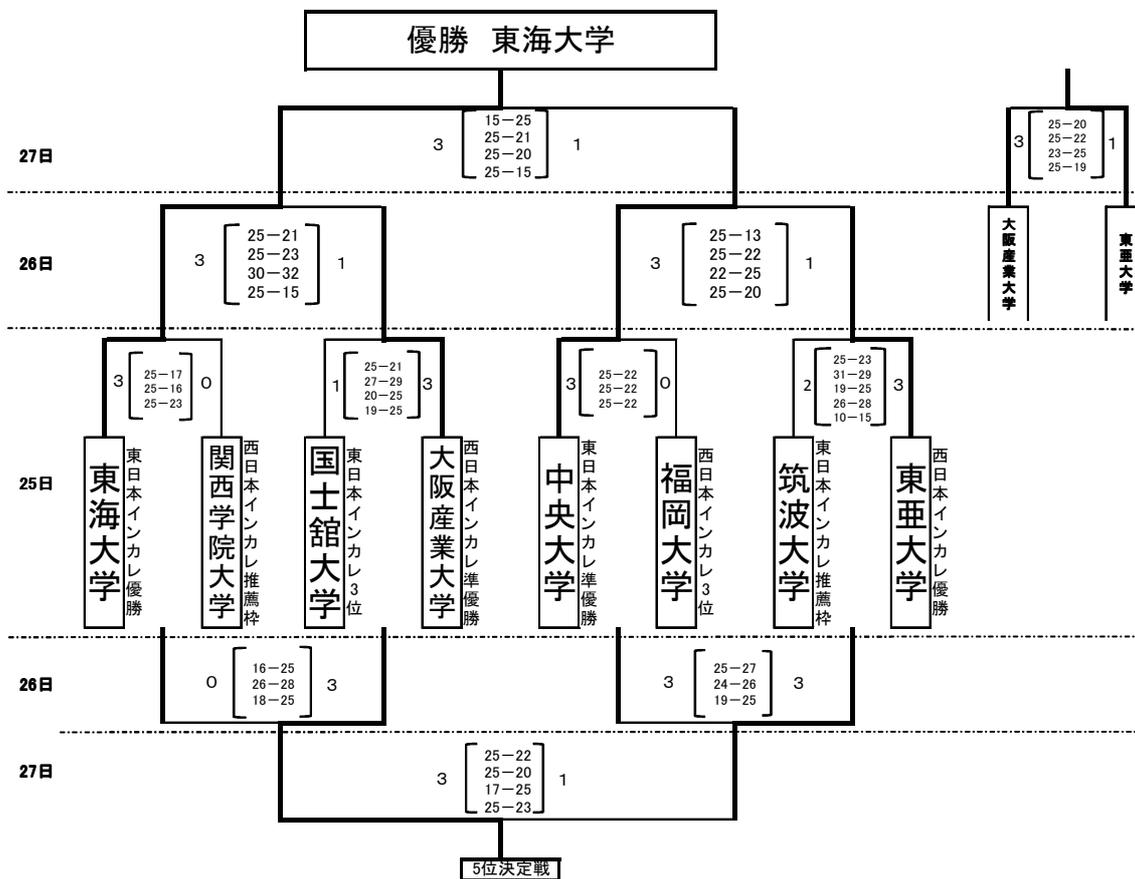
5. 実行委員会運営委員 名簿

所属	氏名	実行委員会役職
筑波大学	都澤凡夫	トーナメントディレクター
〃	松田裕雄	エグゼクティブプロデューサー
〃	中西康己	
つくば市市長公室政策審議室	林孝男	
〃	新井隆男	
つくば市教育委員会スポーツ振興課	斉藤利弥	
〃	苅谷伊佐夫	
筑波大学職員	菅野昭	プロモーション戦略
〃	丹藤勝次	総合戦略
つくば市商工会	鈴木誠	CSSG内フードパーク
〃	吉原則行	〃
〃	東郷直幸	総合プロモーション戦略
つくば市バレーボール連盟	石黒澄子	総合戦略、プロモーション戦略
つくば市体育協会	高巢文子	総合戦略
Dance Association Seeds	伊波周子	企画戦略 ファーストステージスペシャル
筑波大学男子バレーボール部	梶原健作	総合戦略
つくばユナイテッドVOLLEYBALL	赤木貴雅	プロモーション戦略
〃	佐藤由法	企画戦略 オークラ・スポーツピアガーデン
〃	坂上友恵	企画戦略 インカレセンターコート
〃	石川健	企画戦略 コカ・コーラスポーツスクエアガーデン
〃	中泉誠子	総合戦略
関東大学バレーボール連盟	平本貴宏	企画戦略 インカレセンターコート
〃	布施峰志	プロモーション戦略
筑波大学大学院	大西徹郎	企画戦略 コカ・コーラスポーツスクエアガーデン



6. 各種企画報告

1) 東西王座決定戦競技結果



【最終成績】

優勝 東海大学 (2年ぶり)
 準優勝 中央大学
 3位 東亜大学
 4位 大阪産業大学
 5位 国士舘大学
 6位 筑波大学
 7位 関西学院大学
 7位 福岡大学

【最終個人賞】

優勝監督賞 積山和明 (東海大学)
 最優秀選手賞 八子大輔 (東海大学)
 つくばスタイル賞 松田修一 (東海大学)
 繋ぎの神髄賞 重村健太 (中央大学)



2) Right-on つくばスタイルカップバレー2008 競技結果



チーム山口○ VS ●チーム秋山 (3-1)

【出場選手】

青山繁 (東レアローズ)
勝野裕士 (東レアローズ)
篠田歩 (東レアローズ)
永野健 (パナソニックパンサーズ)
川浦博昭 (豊田合成トレフェルサ)
花野裕祥 (豊田合成トレフェルサ)
甲斐祐之 (豊田合成トレフェルサ)
丸山祥二 (豊田合成トレフェルサ)
三上圭次郎 (NECブルーロケッツ)
菅直哉 (NECブルーロケッツ)
菊池孝一 (つくばユナイテッド Sun GAIA)
小川将司 (つくばユナイテッド Sun GAIA)
石川健 (つくばユナイテッド Sun GAIA)
赤木貴雅 (つくばユナイテッド Sun GAIA)
阿部友幸 (つくばユナイテッド Sun GAIA)
大木貴之 (つくばユナイテッド Sun GAIA)
岩田岳大 (つくばユナイテッド Sun GAIA)

【個人賞】

MIP賞 大木貴之 (つくばユナイテッド Sun GAIA)
ブロック賞 川浦博昭 (豊田合成トレフェルサ)
リベロ賞 勝野裕士 (東レアローズ)
元気玉賞 菅直哉 (NECブルーロケッツ)



3) 2008 SAKAI OVEX ジャパンアスリートマッチ—VOLLEYBALL
競技結果



武富士バンブー VS NEC レッドロケッツ

2-3 (23-25、25-21、25-22、17-25、16-14)

【出場選手】

・武富士バンブー

監督 石原昭久

コーチ 安保澄

マネージャー 尾崎候

選手 吉澤智恵

金子美里

澤島文子

原桂子

足立留美

池浦文香

今村直美

内藤香菜子

石川友紀

平井真恵

服部安佑香

田向友美

三澤由佳

砂田遥

石田瑞穂

山中綾乃

・NECレッドロケッツ

監督 山田晃豊

コーチ 大村悟

マネージャー 梅川大介

選手 松崎 さ代子

成田 郁久美

中村 真美

渡邊絢子

有田沙織

秋山美幸

筒渕輝恵

高崎紗緒梨

深川和那

泉真子

安藤典莉子

内田暁子

竹内沙耶歌

澁澤夏美

丸山裕子



4) コカ・コーラスポーツスクエアガーデン

●2th アシックスカップ・フレンドリーマッチ

【参加団体】

- ・筑波大学硬式野球部

『9枚射抜けば君もダルビッシュ』

- ・筑波大学蹴球部

『狙え得点王、目指せ日本代表!!』

- ・北関東シュレッド

『Let's トゥ ストール』

- ・つくばユナイテッドVOLLEYBALL

『Sun GAIA を倒せ』

『へびの道を駆け抜けろ』

『繋ぎの神髄!!魔法陣パス!!』

計 4団体 7ブース

【参加者数とカテゴリー別優勝者】

カテゴリー	26日		27日		カテゴリー別 TOTAL
	参加者数	優勝者	参加者数	優勝者	
羽ばたけ未来へ U-12(小学生)	8組 24人	チアチーム	9組 27人	セロハンテープ	17組 51人
思春期だっていいじゃないか U-18(中高生)	2組 6人	不明	5組 15人	不明	7組 21人
一生青春一生スポコン O-19(一般)	0人	—	1組 3人	チームレナ様	1組 3人
年の差なんて関係ねえ OVER100MIX	1組 3人	ともや&おぼあ	0人	—	1組 3人
二人で遊べる時間、プライスレス 親子	10組 20人	ゆうき	3組 6人	ファンタスティポ	13組 26人
TOTAL	53人		51人		39組 104人



●フードパーク「つくばっこ」

【参加団体】

- ・ Sun GAIA station
- ・ 利根コカ・コーラボトリング株式会社
- ・ アルケア株式会社
- ・ より味ち
- ・ お食事処よしば
- ・ ミラインディアンレストラン
- ・ 学園手造りハムの会
- ・ よしむらミート
- ・ 香辛飯屋
- ・ 筑波大学北海道民会

【売り上げ】

出店店舗	売上			3日間 TOTAL
	25日	26日	27日	
Sun GAIA station	¥264,200	¥399,000	¥682,500	¥1,384,250
より味ち	—	¥52,500	¥49,500	¥102,000
お食事処よしば	—	—	—	¥64,200
ミラインディアン レストラン	—	¥38,600	¥36,400	¥75,000
学園手造りハムの会	—	¥43,400	¥30,800	¥74,200
よしむらミート	—	¥41,800	¥32,500	¥74,300
香辛飯屋	—	¥63,600	¥60,200	¥123,800
筑波大学北海道民会	—	¥35,300	¥38,200	¥73,500
利根コカ・コーラ ボトリング株式会社	—	—	—	¥95,820
アルケア株式会社	—	—	—	¥28,000
TOTAL	¥264,200	¥674,200	¥930,100	¥2,095,070

※ 各日の TOTAL は、お食事処よしば、利根コカ・コーラボトリング株式会社、アルケア株式会社の売り上げを含んでいないため、それらの合計は3日間 TOTAL とは一致しない。



7. 実行委員会決算報告及び経営報告

※2008 東西インカレにおけるグッズ売り上げは、実行委員会決算とは別会計としている。

● 予算規模の変化

—各年度収入項目

項目		2003	2004	2005	2006	2008	
収入総額		¥8,084,500	¥9,133,358	¥10,945,754	¥7,859,664	¥4,730,390	
収入	外部	つくば市	¥1,095,000	¥1,095,000	¥1,095,000	¥930,000	¥930,000
		筑波大学	¥2,203,000	¥2,000,000	¥1,000,000	¥800,000	¥800,000
		協賛金	¥1,685,000	¥2,775,000	¥2,828,000	¥1,962,519	¥390,000
		全日本バレーボール連盟	¥0	¥0	¥300,000	¥0	¥0
	内部	グッズ売上	¥1,494,400	¥1,813,950	¥2,963,500	¥2,707,183	¥0
		パーティー売上	¥1,471,000	¥1,438,000	¥1,928,000	¥759,500	¥961,800
		カフェ売上	¥0	¥0	¥233,150	¥26,650	¥0
		Market売上	¥0	¥0	¥0	¥11,800	¥0
		チケット売上(アリーナ)	¥0	¥0	¥0	¥0	¥1,112,600
		チケット売上(ホール)	¥0	¥0	¥0	¥0	¥346,000
		その他雑収入	¥136,100	¥11,408	¥0	¥144,123	¥189,990
		繰越金	¥0	¥0	¥598,104	¥517,889	¥0
支出総額		¥8,084,500	¥8,640,404	¥10,427,865	¥7,859,378	¥4,730,390	
対2003年度		100.00%	106.88%	128.99%	97.22%	58.51%	

—各年度収入項目割合

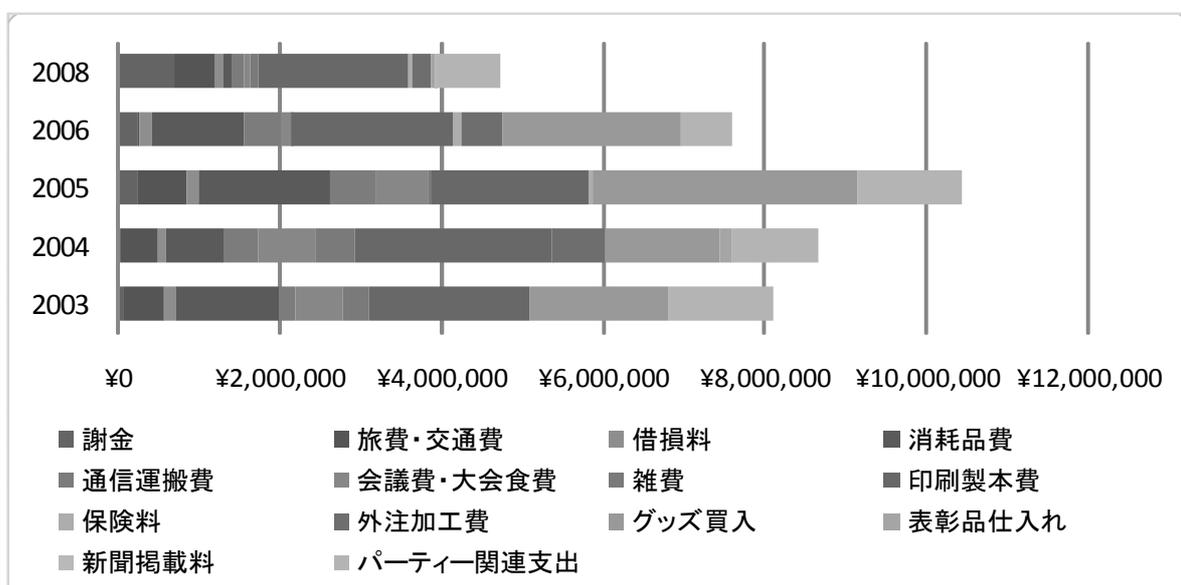
項目		2003	2004	2005	2006	2008	2008 (グッズ売上含む)	
収入総額		¥8,084,500	¥9,133,358	¥10,945,754	¥7,589,378	¥4,730,390	¥6,114,640	
収入項目	外部	つくば市	27.2%	12.0%	10.0%	12.3%	19.7%	15.2%
		筑波大学	13.5%	21.9%	9.1%	10.5%	16.9%	13.1%
		協賛金	20.8%	30.4%	25.8%	22.4%	8.2%	6.4%
		全日本バレーボール連盟			2.7%			
	内部	グッズ売上	18.5%	19.9%	27.1%	35.7%	0.0%	22.6%
		パーティー売上	18.2%	15.7%	17.6%	10.0%	20.3%	15.7%
		カフェ売上			2.1%	0.4%	0.0%	0.0%
		Market売上				0.2%	0.0%	0.0%
		チケット売上					30.9%	23.9%
		その他雑収入	1.7%	0.1%	0.0%	1.8%	4.0%	3.1%
		繰越金	0.0%	0.0%	5.5%	6.8%	0.0%	0.0%
			38.4%	35.7%	52.3%	54.8%	55.2%	65.3%
支出総額		¥8,084,500	¥8,640,404	¥10,427,865	¥7,589,378	¥4,730,390	¥5,719,790	
支出/収入(%)		100.00%	94.60%	95.27%	100.00%	100.00%	100.00%	



—各年度支出項目

項目	2003	2004	2005	2006	2008
謝金	¥50,000	¥30,000	¥220,000	¥220,000	¥686,720
旅費・交通費	¥496,023	¥440,510	¥612,000	¥28,840	¥500,618
借損料	¥170,625	¥124,598	¥169,262	¥151,890	¥111,405
消耗品費	¥1,255,637	¥696,144	¥1,612,976	¥1,138,221	¥92,836
通信運搬費	¥220,660	¥444,612	¥565,528	¥472,180	¥153,058
会議費・大会食費	¥570,275	¥692,136	¥655,769	¥110,285	¥91,601
雑費	¥329,657	¥490,241	¥23,415	¥3,410	¥76,870
印刷製本費	¥1,984,825	¥2,439,350	¥1,949,060	¥2,016,324	¥1,856,348
保険料	¥0	¥7,200	¥54,760	¥100,000	¥67,000
外注加工費	¥0	¥657,635	¥0	¥511,600	¥215,668
グッズ買入	¥1,728,741	¥1,414,875	¥3,271,495	¥2,189,828	¥0
表彰品仕入れ	¥0	¥158,160	¥0	¥0	¥57,766
新聞掲載料	¥0	¥0	¥0	¥0	¥10,500
パーティー関連支出	¥1,278,057	¥1,044,943	¥1,293,600	¥646,800	¥810,000
	¥8,084,500	¥8,640,404	¥10,427,865	¥7,589,378	¥4,730,390

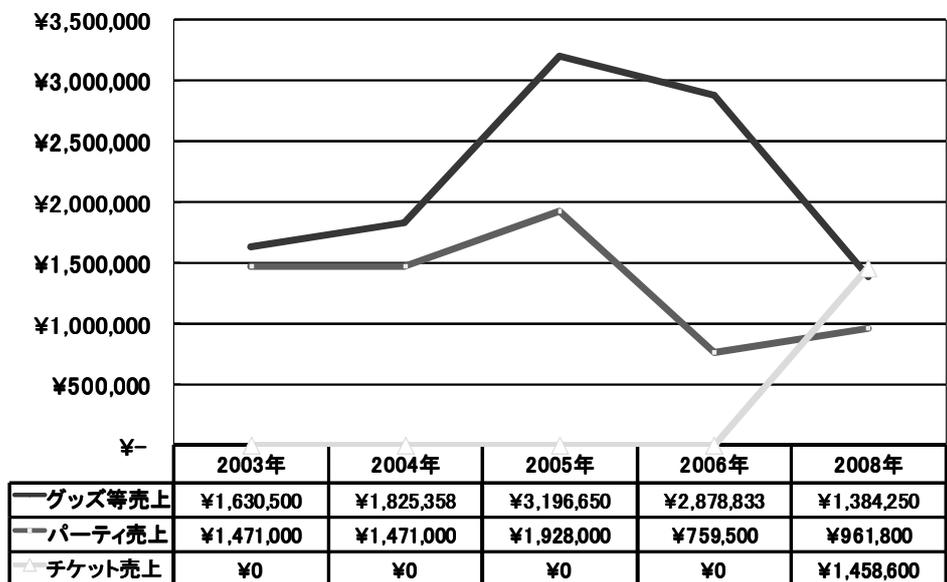
—各年度支出項目割合





●自主財源の割合の推移

ープロダクト・パーティ・チケット売上推移



※2008 東西インカレにおけるグッズ売り上げは、実行委員会決算とは別会計としている。

ーパーティ事業 売上高対総利益率

	2003	2004	2005	2006	2008
パーティ売上	¥1,471,000	¥1,438,000	¥1,928,000	¥759,500	¥961,800
パーティ支出	¥1,278,057	¥1,044,943	¥1,293,600	¥646,800	¥810,000
純利益	¥192,943	¥393,057	¥634,400	¥112,700	¥151,800
売上高対総利益率	15%	38%	49%	17%	19%
五大会売上高対総利益率	27%				

参考：中小企業経営指標参考数値 製造業 25% 卸売業 23% 小売業 39%

ープロダクト事業 売上高対総利益率

	2003	2004	2005	2006	2008
プロダクト買入れ	¥1,494,400	¥1,813,950	¥2,963,500	¥2,707,183	¥1,004,650
プロダクト売上	¥1,728,741	¥2,569,875	¥3,271,495	¥2,835,748	¥1,384,250
純利益	¥234,341	¥755,925	¥307,995	¥128,565	¥379,600
売上高対総利益率	14%	29%	9%	5%	27%
五大会売上高対総利益率	15%				



8. 実行委員会各セッション運営評価

1) 総合戦略 作成者：中泉誠子

1. 目的

観客はもちろん、選手、団体、大会実行委員会など、この東西インカレに関わってくれるすべての人に、心地よくて爽快な感覚を持ってもらえるように、大会の運営をサポートすること。

2. 内容

- | | |
|---------------|--------------|
| ① 総合インフォメーション | ⑤ インターンシップ対応 |
| ② 施設対応 | ⑥ パフォーマー対応 |
| ③ スタッフ対応 | ⑦ 給食センター |
| ④ Vリーガー対応 | ⑧ 運搬（山田運輸） |

3. 結果

今大会の特徴（例年や他大会との比較して）

○ヒトに関する内容

- ・実行委員会をつくばユナイテッドVOLLEYBALL(TUV)職員の少人数で構成した点。

各セッションに1名リーダーを置き、任務を進めていった。

よかった点

- ・TUV職員がリーダーに就き、企画を進めながら各部署に配属された大学生を教育する、という流れを作っていくためのきっかけとなった。
- ・少人数のため会議が開催しやすく、緊急時にも集合しやすかった。

改善点

- ・1人がたくさんの情報を持ち、整理と流通に滞りが出てしまった。

- ・Dance Association Seeds(DAS)が実行委員会に加わり、全日程でホールにおけるイベントの企画・運営を担った点。



3日間通して DAS 主催でイベントを企画した。

よかった点

- ・ DAS と TUV、共につくば産クラブ同士の交流が深められ、イベントの共同開催の流れの確立に繋がられた。
- ・ 会場で様々な企画が催されている中で、新しい趣向の‘ダンス’を取り入れることができ、お互いに他趣向の観客を巻き込むことができた。

- ・ 関東大学バレーボール連盟と共同して大会運営を進めた点。

よかった点

- ・ 関東大学バレーボール連盟と例年にないくらい強力なタッグを組んで大会運営できた点。
- ・ 学連には、競技に関する内容と出場大学チームとの窓口をしてもらい、明確に役割分担したことで互いに任務がスムーズに進んだ点。

- ・ スタッフへの昼食 ‘賄い’ が定着化してきた点。

よかった点

- ・ 2006年東西インカレ、07/08Vホームゲームと、つくば市バレーボール連盟や TEAM Sun GAIA 関係者に、安定して協力してもらった流れができた。
- ・ 過去、スタッフの食事を弁当の外注や会場内出展舗のクーポン券を利用していたときより経費節約ができています。

例；2003 東西インカレにおけるスタッフ分弁当代 548,000 円

2008 東西インカレにおける賄い経費 約 50,000 円

改善点

- ・ 会場内出展舗における収益が減ってしまう点。(スタッフが買って食べてくれないと収益が上がらない)
- ・ スタッフの休憩が取りにくい。(人員が少なかった)

- ・ つくば市、筑波大学、つくば市商工会、つくば市教育委員会、つくば市バレーボール連盟、TEAM Sun GAIA 関係者などと協力して大会運営をすることが定着化してきた点。

よかった点

- ・ つくば近隣の方々が協力してくれることで、‘VISIT・つくば・スポーツキャンペーン’のアピールができています。

改善点

- ・ 交代で十分な休憩をとるためには全体的に人数が少なかった。(他まつり行事等と日程が重なり、参加できる人数を確保できなかった。)
- ・ たくさんの方が参加してくださる中で、参加に対する意識が人それぞれで、意識の違いから嫌な思いをさせてしまったこともあった。



- ・任務内容に「パフォーマー対応」と「Vリーガー対応」が加わった点。

よかった点

- ・パフォーマーの方やVリーガーにとっては、総合インフォメーションに対応者が常駐していることが、大会に関する疑問・質問などはけ口が明確であったと思われる。

改善点

- ・事前の連絡担当者との密な情報共有がもっと必要であった。もしくは、事前担当と当日担当で、人員を代えないほうがよいと感じた。

- ・「チーム（出場大学）対応」の学連スタッフが総合インフォメーションに常駐した点。

よかった点

- ・チーム対応専属の学連スタッフが総合インフォに常駐したことで、パフォーマーやVリーガー対応と同様に、チームにとっては、総合インフォメーションに対応者が常駐していることが、やり取りがしやすそうであった。

- ・各セッションリーダーに、‘経験’より‘人徳’を優先して人員配置した点。

よかった点

総合戦略では、もともと経験者はいなかったことを逆手にとって、経験やノウハウの問題ではなく、リーダーシップを取れる人、人をまとめる能力のある人などを各任務のリーダーに置いた。結果も伴ったと感じる。

- ・運搬（搬入）が予定より 30 分も早く終わった点。
- ・緊急時にも臨機応変に対応し、指示を出していた点。
- ・ほとんどの実行要員が、当日初めて顔を合わせる人同士で運営するにあたって、場を和ませて仲間意識を創り出せていた点。

○カネに関する内容

- ・Sun GAIA station における売上を実行委員会予算とは別会計にした点。
- ・入場料を徴収した点。



よかった点

・ Sun GAIA station の売上を実行委員会予算とは別会計にするのは今大会が初であるが、売上金額を抜いても、大会収支決算は黒字とすることができた。入場料を徴収したこと（チケット売上）、パーティ（ビアガーデン）参加費などの自主財源で運営できていた。

○情報に関する内容

・ オペレーションマニュアルの情報をスリムにした点。

全体共通事項と個別統括事項（各セクションから出された、全体に周知したい内容）、そして各セクションマニュアルと、各人が 3 種類のマニュアルを持つようにした。

よかった点

・ 他セクションの情報まで持つ必要がなく、他部署におけるマニュアルの必要な部分は、全体共通事項や個別統括事項で情報を補えた点。

4. 考察

- ✓ 総合戦略の任務は、各企画からの情報を収集・整理し外部へ申請したり、内部に流通させることであるが、企画の進行を待っていても進まないで、総合戦略で粗方決めてしまっていて進めるしかない。
⇒ただ、3月のVリーグホームゲームに倣ってつくば市からパネルを100枚確保しておいたが、実際はそんなに使用せず、無駄な運搬をするはめになった。せめてもう少し早く情報をあげてほしい。
- ✓ 外部団体との‘事前連絡担当者’と‘当日対応担当者’が異なる場合は、当日担当者に早めに正確な情報を渡し、打ち合わせの時間をとるべきである。やって当然であるが、今回はそれができていなかったなので、次回は必ず改善するべきである。
- ✓ たくさんの当日要員を集め、その日に顔合わせをするようなケースも多い中、リーダーシップをとるのは、仕事経験が豊富な人よりも、人をまとめ、動かす能力や和を創る能力に長けている人を就かせるべきである。
⇒給食センターの塚本氏、木曾、運搬の山田、山口、木曾、他部署の菅野氏をみてもそう感じた。



2) プロモーション戦略 作成者：赤木貴雅

【目的】

- ・ 来場者の獲得（広報）
- ・ 協賛社へのサービス
- ・ 来場者へのサービス
- ・ 来場者へのリサーチアンケート調査

【内容】

当日の来場者の獲得のために、チラシ 20 万部、ポスター 2,000 枚、中吊り広告 1,600 枚の配布・掲示を行い、同時に、新聞・雑誌社へのプレスリリース、WEB でのプロモーションを行った。また、今年から有料となったため、前売りチケットの販売と当日チケットの製造をチケットぴあに委託した。来場者へのサービスでは、会場警備やクロージングセレモニー終了後に Right-on500 円割引券を配布するなど、最後までイベントを楽しんでもらうようにした。協賛社へのサービスでは、バナーの設置等の協賛社のプロモーションを行った。

【結果】

当日の来場者は約 4,000 人と例年より少ない結果となってしまった。広報開始が遅れ、非常に短い期間での広報となってしまったため、情報を管理しきれず、計画通りの広報を行うことはできなかった。また、来場者の減少により、広報に関する費用対効果は非常に低いものとなってしまった。

チケットの販売については、チケットぴあとの連携が非常にスムーズに行うことができ、また、当日の販売も当日スタッフの協力のおかげでスムーズに行うことができた。しかし、当日チケットの販売については、事前の準備不足・経験不足から、当日大慌てしてしまう結果となってしまった。

来場者へのサービスについては、当日の大きな事故等がなかったことから安全面については確保することができた。また、商品券の配布等のサービスも予定通り行うことができた。

協賛社へのサービスは、パートナーズボードの制作の遅れやバナーの管理不足など、随所で欠陥が見られ、非常に残念な結果となってしまった。特に、カピオ外の空間に掲載したバナーについては、風が強く、来場者からはあまり見えず、プロモーション効果の低いものとなってしまった。



【考察】

当日は、入場有料、夏祭りなどと同日程開催、筑波大学の1回戦敗退など、来場者が少なくなってしまう要因が多く見つかった。これらは次回開催時には、行事の日程の下調べなどが必要となる。また、来場者の予定を確保するためには、もっと早い段階で広報を開始しなければならない。

チケットの販売については、今回の前売りチケットの販売の成功は非常に良かったと思う。次回以降はチケットぴあとの連携を深めると同時に、コンビニに以外でもTX各駅、地元商店等での販売が行えるともっと簡単にチケットを購入できると思う。しかし、当日チケットの販売に関しては、つくば市バレーボール連盟とTEAM Sun GAIAの父兄の方々に非常に助けてもらった。このことは次回のオペレーションへ必ず活かしていかなければならないと思う。

来場者へのサービスについては、入場有料ということもあり、会場警備には非常に苦労した。つくばカピオ内の出入り口全てに警備員を配置したが、警備箇所と警備員の数がアンバランスとなってしまい、会場警備の人たちには大変な思いをさせてしまった。今後開催するときには警備員の確保は大きな課題になると思う。来場者が増えれば増えるほど入場者の管理が難しくなるため、オペレーションの確立はもっと早い段階で行う必要がある。

協賛社へのサービスは、オペレーションの欠陥が非常に多かった。協賛社のバナーの管理などは事前の想定が不十分だったために起こったミスである。事前準備をもっと早い段階で行うこと、当日のサービスのオペレーションを確立させることが次回以降の課題として残る。また、協賛社の確保ではつくば市商工会の多大な協力のおかげでたくさんの協賛社に賛同してもらうことができた。次回以降もつくば市に根付いたイベントとして、地元企業に賛同していくためには、サービス面での信頼を確保する必要がある。今回のミスは二度としてはいけない。

【まとめ】

今回は全ての面において時間との戦いだった。事前段階から当日まで非常にたくさんの情報量を扱う部署だけに、今回はそれに必要なだけの力がなかった。次回への改善点としては、広報とリサーチで一人、サービスの部分で一人、中心となる役割を持つ人間が二人以上は必要だと思う。当日の企画の充実や盛り上がりは、企画の成功以前にプロモーションの成功が鍵を握っていると言える。情報の管理を確実に行うことで、全ての動きのスピードが上がる。たくさんの賛同者とともに作り上げてきたイベントだけに、プロモーション戦略は今後、スピードとその効果を考えて動いていかなければならない。



3) 企画戦略(インカレ・センターコート) 作成者：坂上友恵

【目的】

- ①入場有料化による過去の東西インカレとの差別化
- ②スムーズな競技運営
- ③出場選手への快適な競技環境の整備
- ④試合間、セット間の演出

【内容】

- ・東西王座決定戦の演出運営
- ・Right-on つくばスタイルカップバレー2008 の企画演出、競技運営
- ・2008 SAKAI OVEX ジャパンアスリートマッチ—VOLLEYBALL の企画演出、競技運営
- ・出場大学参加による両雄相關の企画運営
- ・TEAM Sun GAIA KIDS. & Jr.による表彰プレゼンター

【結果】

- ・東西王座決定戦を全 11 試合運営
- ・エキシビジョンマッチを 2 試合実施
- ・Right-on つくばスタイルカップバレー2008 に監督・選手 19 名出場
- ・2008 SAKAI OVEX ジャパンアスリートマッチ—VOLLEYBALL では初めての女子チームの試合
- ・全 15 団体が出演
- ・競技アシスタントチームに全 5 校参加

【目的に対する考察】

- ①入場有料化による過去の東西インカレとの差別化

⇒女子プレミアチームのエキシビジョンマッチを行えたことが一番の成果である。これまで、大学・Vリーグともに男子が中心だった TUV イベントに、女子チームの試合を組み女子バレーファンという新しい顧客が開拓できた。また試合内容に関しても、フルセットまでもつれ込む程、両チームの力が拮抗しており、面白い試合内容となったのではないか。アンケートの内容を見ても、来場者の約 13%が“2008 SAKAI OVEX ジャパンアスリートマッチ—VOLLEYBALL”が印象深かったと答えている。

“Right-on つくばスタイルカップバレー2008”に関しては、当初 21 名のVリーガーを予定していたが、直前のワールドリーグ出場決定により、東西インカレ欠席という事態になってしまったのは惜まれる結果。最終的に 17 名の選手、2 名の監督による試合となった。観客・スタッフが受けた印象をアンケート結果からいくつか抜粋すると、「真剣さに欠ける」



「だらだらしている」という声はいくつかあった。観客はやはりVリーグ選手の“プレー”に期待して見に来ていたことが伺える。1階席も空席が目立っていた。このような状態になってしまった一つの要因として、事前に打ち合わせができず、こちら側の真剣な意図が伝えられなかったという点がある。

②スムーズな競技運営

⇒競技運営に関しては、例年にはないほどの学連との協力体制をとれたことにより大変スムーズであった。ただ一点、改善が要求されるのは時間設定である。特に最終日は4試合とタイトなスケジュールであり、さらに各試合が力の拮抗したチーム同士ということでラリーが非常に長かった。さらに優勝決定戦では、雷雨による突然の会場内停電で30分の試合中断。そして、最終的に予定時刻より2時間遅れての全日程終了となった。この時間の遅延に関しては、もともとの時間設定に非常に無理があった点、女子のエキシビジョンについては1時間半しか時間枠をとっていなかった点が理由としてあげられる。今後は1試合確実に2時間の枠、そして時間が遅延した場合の対応を考えていく必要がある。

③出場選手への快適な競技環境の整備

⇒競技環境について、競技アシスタントの存在について考察する。高校1校、中学校4校が協力してくれた。しかし、事前に打ち合わせる機会が1度しかなく、十分な練習を積んで当日を迎えることができなかった。しかし、また参加したいとの声が聞かれ、地元に着した大会としての運営を、さらに深めいける要素を生み出した。

④試合間、セット間の演出

⇒15団体と比較的多くの団体が参加してくれた。これまでにTUVや東西インカレを知らなかった存在に認知してもらえたことが大きな成果であったと思う。全体的な時間の遅延が合った中、パフォーマンスについても制限時間をオーバーする場面が多くあった。表彰プレゼンターについては、やや時間を取りすぎ間延びさせてしまう印象を観客に与えてしまった感がある。時間調整できるのは試合間のみなので、パフォーマンスによって時間調整できるくらい柔軟にできるようにしたい。

【まとめ】

初めての有料化ということで、「見せる」姿勢を意識しての運営を心掛けた。“わくわくドキドキ感を与え続け、観客に休む暇を与えない！”といったコンセプトから始まったアーナの企画。実際に、セット間・試合間はほぼ休みなく団体が出演した。しかし、数にこだわりすぎ、1つ1つの団体との打ち合わせが十分にできず“見せるパフォーマンス”として質にもっとこだわりを持ちたかった。

また、今回はどのセクションもそれぞれの業務をこなすことで手一杯になってしまっていた。そのため、セクションを超えた企画が実現できず、企画同士が助け合い相乗効果を生み出すことができなかった。今後は早めの実行委員会立ち上げ、そして企画立案・実行を前倒しで行う。そして、観客の視点に立った思いやりあるサービスにつなげていきたい。



4) 企画戦略(コカ・コーラスポーツスクエアガーデン)作成者:石川 健

【目的】

- ・ スポーツを身近に感じてもらう。
- ・ 筑波大学体育会を知ってもらう。
- ・ 多世代の触れ合い。

【内容】

スポーツを身近に感じてもらうために、カピオ前広場で2nd アシックスカップフレンドリーマッチやセンターステージ Sun でのショーイベント、センターステージ GAIA でのVリーガーへ挑戦という参加型イベントを開催し、フードパーク「つくばっこ」による食や Sun GAIA station による衣など外の空間を、一つの街として演出した。

【結果】

(2nd アシックスカップフレンドリーマッチ)

参加者(別紙参照)が少なく、前回の4分の1程度の参加者しか集めることができなかった。原因として参加団体の数が少ない、来場者数が少ない、事前の呼びかけや当日の呼び込みが悪いなど様々な要因が見られるが、参加者の中には2回3回とブースを回る参加者が多く参加者には楽しんで貰えたと思う。

今後実施していくにあたって、バレーを見にきた来場者以外にも周辺の歩行者などをどうやってこちらの空間に足を運ばせるかが課題となる。

(センターステージ GAIA)

今回、初の試みでVリーガーへ挑戦という参加型イベントを行い、2日間で120名程度の参加希望者がきた。

参加賞や得点によって賞品を準備して行っただが、ルールが厳しく賞品を獲得できる参加者が少なく、ルールの改善が必要だと感じた。参加者には好評であり、「2回目も挑戦できますか?」という声が多く今後のイベントでも継続して行っていったほうがいいと感じた。

(センターステージ Sun)

13時前後にパラソルの前のスペースで各団体にパフォーマンスをしてもらい、来場者が食事の時間に見て楽しめる演出を行っただが、事前の打ち合わせが悪く音響など若干の不備があった部分はあったが十分に見て楽しめる演出であったと思う。

改善点として、来場者がどの団体がいつパフォーマンスするのかわからない部分があり、事前のアナウンスや参加団体の紹介看板の設置など題材的にアピールしたほうがより多くの人に楽しんで貰えたと思う。



(フードパーク「つくばっこ」)

今回は1日イベントを行う、26日27日のみの販売であったが25日にも販売して欲しかったという声が多くみられた。2日間の売上(別紙参照)としては、十分な成果とはいえない。設置場所はアリーナの前ということもあり、悪くはなかったと思うが、通常の出店と同じような形になってしまっていたのでもっとこちらと連携してイベント等を行っていただけたらと思う。

【考察・まとめ】

当日は、来場者が少なく、インカレセンターコートに出演する団体への事前の呼びかけや当日の来場者への呼び込みが悪く、それに合わせてこちらの準備段階での不手際があり参加団体が減ってしまうということがあり、2nd アシックスカップフレンドリーマッチの参加者が少なくなってしまった。これらを改善するために、連絡や情報などの内部のコミュニケーションを徹底してできるようにする必要がある。それと今回、呼び込みに関するオペレーションマニュアルが無かったため、呼び込みがバラバラになってしまったので、作成して実施する必要がある。

全体的に事前の打ち合わせやリハーサルが不足していたため、当日になってアナウンスの不手際や物品が足りなくなる等の不手際があったためもっと当日をシュミレーションしながら団体との連携を詰めてく必要がある。イベントが多いため、準備段階で来場者や参加団体、スタッフなどどちらにもすしやすい環境を作ってく必要があると感じた。



6) 企画戦略（オークラ・スポーツビアガーデン） 作成者：佐藤由法

目的：《つくばスタイルなもてなし・交流》

- ①世界へ飛び立つ次世代（出場大学選手）を熱くもてなす！
- ②トップアスリートと一般市民との交流
- ③地元つくばの良さをアピール！つくばスタイルの創設

内容：上記目的に対応

- ①お出迎え、アスリートサーバー、YELL by Golden Goals
- ②アスリートサーバー、アスリートビンゴ大会
- ③歓迎パフォーマンス（ときめき太鼓塾、フラメンコ同好会～ロサ・ロハ～、つくつく）

結果：

- ・パフォーマンス団体が多くなりすぎたのと、団体のパフォーマンスの時間が長くなりすぎたことでタイトなスケジュールになってしまった。
- ・Golden Goals やVリーガーによるマイクパフォーマンスや豪華景品により、アスリートビンゴ大会が一番の盛り上がりを見せた。

考察：

- ・開放的な空間というコンセプトで、初の屋外パーティは非常に好評だったと感じた。しかし、雨天時の会場が取れない時は最初から室内での開催にした方がよいと感じた。
- ・アリーナが遅れることを想定して決定した開催時間だが、予想以上に長くなってしまったことと、試合後の選手がダウンや片付けで遅くなるので、開催時間をもう少し遅くするか、予め時間どおりに開催することをチームに連絡しておく必要があった。
- ・パフォーマンスは1~2団体くらいにとどめておき、メインのイベントをゆっくりできる時間設定にする方がいいと思った。イベントがなくても間延びするような感覚はまったくなく参加者は楽しんでいたように感じた。参加者がビアサーバーで選手と交流していたことも関係が大きいと感じる。
- ・大学選手が次の日の試合の都合で途中退場が目立った。事前に途中退場されると厳しいことと、できるだけ選手たちは無料で参加できるようにしていくことで今回のような出来事を防ぐようにしたい。
- ・アスリートビンゴ大会は、GG選手、Vリーガーたちの豪華ゲストに加え、景品の豪華さも目立ち非常に盛り上がった。予定時間を30分と計画し、時間通りに行えたのでこの結果も次回の参考になると考えられる。
- ・今後はカピオ前広場の一角をパーティ会場にし、飲食関係は屋台の方々に協力してもらうことで、当日参加者をどんどん増やし、売り上げ向上につなげていきたい。そのためにもパーティ独自の協賛社を探す必要がある。

まとめ

- ・イベント内容は、余裕のある運営・余裕のある時間設定を心掛ける必要がある。
- ・屋外でイベントを行う場合の準備や対策には細心の注意を払い万全にしておく必要がある。
- ・大学生選手たちとの事前の打ち合わせをしっかりと行い、途中退場がないよう配慮する。
- ・ビンゴ大会が豪華なゲスト、豪華な景品のため非常に盛り上がった。
- ・今後はカピオ前の会場でもっとフランクにたくさんの人が参加しやすいパーティにしていきたい。



5) 企画戦略（ファーストステージスペシャル）

作成者：NPO 法人 DAS 伊波周子

今回、関連企画として開催させていただいた『ファーストステージ スペシャル』は、「キッズダンサーのチーム活動を応援する」というコンセプトのイベントでしたが、それにもまして、東西インカレバレーボール大会を通して、たくさんの新しい出会いや、人と人との関わりが生まれたことが、なにより素晴らしい財産になったのではと思います。

TUVの子ども達とDASの子ども達、そしてバレーボール選手で創り上げたファッションショー「Vコレ 2008 チェケラ大作戦」によって、DASの子ども達にとってよい刺激となったこと、さらに、つくば市で活動するスポーツパーソンとしての仲間意識が高まったことは、関連企画として開催させていただいてよかった点です。Vision を通してなんとなく知っていた…という間柄も、グッと親近感が沸くようになったと思います。

運営面では、連絡を担当するスタッフの方のおかげで、必要最小限の会議と打合せのみで参加できました。無理なく関われる範囲としてよかったと思います。また、楽屋・リハーサル室・ホワイエ等、必要な場所の提供をこころよくしていただいたことで、ホールの運営もスムーズに行うことが出来ました。

さらに、チケット料金を徴収したことで、経費が捻出でき、うまくいけば利益も見込めるような仕組みになったといえ、継続していきやすい環境になったと思います。

『ファーストステージ スペシャル』自体の反省としては、2 公演とも満席には出来なかったことが残念でした。満席に出来るようなプログラム構成等、検討すべき余地は多々あります。客層については、劇場鑑賞になじみのない方もたくさん来ていただけたことは、よかったと思いますが、鑑賞マナーが悪くスタッフの対応も間に合わない状況だったので、改善策を考える必要がありました。



7) Sun GAIA station 作成者：佐藤由法

目標：売上目標 200 万円！繋ぎの神髄 T シャツ 2008 完売！

内容：目標達成のための戦略

- ・V リーガーサイン会（2 日目筑波大発 V リーガー、3 日目 Sun GAIA）
- ・ポロシャツ the バーゲン開催（パートナーズポロ¥4300⇒¥1500、TSG ポロ¥4900⇒¥3900）
- ・スタッフ（当日含む）、筑波大発 V リーガー、筑波大男子バレー部による繋ぎの神髄 T シャツ着用義務
- ・バレー関係者以外への station 金券配布
- ・ガーデン内での station ブース位置

結果

- ・売上金額詳細

1 日目	2 日目	3 日目	合計（達成率）
¥264,200	¥399,000	¥682,500	¥1,384,250（69.2%）

- ・繋ぎの神髄 T シャツ 2008 売上詳細

繋ぎ T シャツ 2008	白	水色	赤	紺	合計
売上/仕入（枚）	47/100	93/100	86/150	176/250	402/600
達成率	47%	93%	57%	70%	67%

- ・パートナーズポロ売上 112 枚、TSG ポロ売上 26 枚
- ・金券 360 枚配布し 19 枚回収（回収率 5.2%）

考察

・総売上は目標の 69.2%であった。内訳でみると 3 日目の最終日の売上だけで半分を占める。これは入場者数（チケット売上枚数 2 日目 567 枚、3 日目 639 枚）との関係があること、3 日目はスタッフ全員が繋ぎの神髄 T シャツ着用義務日だったので視覚効果もあったと考えられる。その他、目標に到達できなかった原因としては、土日ともアリーナの試合時間が予定時間より遅くなり、観客がブースを見ずに急いで帰宅しなければいけない状態になりやすかったと考えられる。今後は試合数の調整等を行い、ゆとりのある運営や観客の休憩時間の確保ができればもっと売上につながるのではないかと感じた。加えて、土曜日は試合の途中でスタッフがピアガーデンの準備のため閉店することになってしまった。少ない人数での運営が原因であるが、お金の管理や在庫の管理ができるスタッフ（バレー連や体協の方など）を増やしていかなければならないと感じる。

・ポロシャツは、特にパートナーズポロが V リーガーのサイン会でよく出た。白地なのでサインしやすいということと、価格が一番手頃だったことが要因であると考えられる。今後もサインと併用できる安価なグッズは必要になるといえる。

・繋ぎの神髄 T シャツは、水色と赤という今までにないカラーを実験的に販売した。結果、一番成績が低いだろうと考えていた水色の売れ行きがよく、100 枚中 93 枚の売上をあげた。また、東西インカレは大学生が買ってくれるのでちょうど大きなサイズが売り切れた。逆に、今後普通のプロダクトを制作する時は今回のサイズよりもっと小さいサイズを多くしなければならぬと感じた。

- ・金券は 5.2%回収できた。ほとんどがサイン会の時に使用された。バレー関係者以外の人たちにはサイ



ン会が効果的であると考えられる。今後のイベントでは、20~30分程度で十分なのでサイン会の時間を作っていききたい。しかし、サイン会の時間に試合が行われると人がいなくなり、選手たちの不満になってしまうのでアリーナとの連携をもっと密に行えるとよかったと思った。

・ブースの配置に関して、出口正面にブースが設置され、外へ出るときには必ず **station** を見る環境を作ることができた。今後もこの位置にブースを出すことで **station** の雰囲気を作っていききたい。



9. アンケート結果及び各種誘発効果

★分析概要説明

認知[プロモーション戦略効果] 何をきっかけとして東西インカレを知ったか？

↓

決意[ブランドエッセンス浸透効果] なぜ東西インカレ来場に踏み切ったか？

↓

来場[社会効果][経済効果]どのような来場者がどのような軌跡を残したか？

↓

体感[教育効果]どんな刺激を受け、どのような感情変化を誘発したか？（2008年は調査なし）

↓

感動[ブランディング効果]結果として人々の心にどのような東西インカレが残ったか？

★調査結果概要

大会名	来場者数	有効回収枚数/配布枚数	回収率
2003 東西インカレ	3000 人	725 枚/1000 枚	72.50%
2004 東西インカレ	6000 人	893 枚/2879 枚	31.00%
2005 東西インカレ	9000 人	1026 枚/4080 枚	21.30%
2006 東西インカレ	12000 人	894 枚/5938 枚	15.10%
2008 東西インカレ	4000 人	413 枚/1612 枚	25.6%

1) プロモーション効果

【目的と評価判断要素】

東西インカレで、企画実践してきた広報戦略がどのように帰結したのかを明らかにする。

1. 東西インカレに来場した人々が、どのような広報媒体で認知したのか？

→・利用広報媒体内訳（2003～2008）

2. 来場者がどのような属性をもっているか？

→・来場者居住地域内訳（2003～2008）

・観戦習慣、競技経験内訳

・観戦経験

3. 費用対効果の変遷

→・観客動員数 対 広告宣伝費★の効果推移（2003～2008）

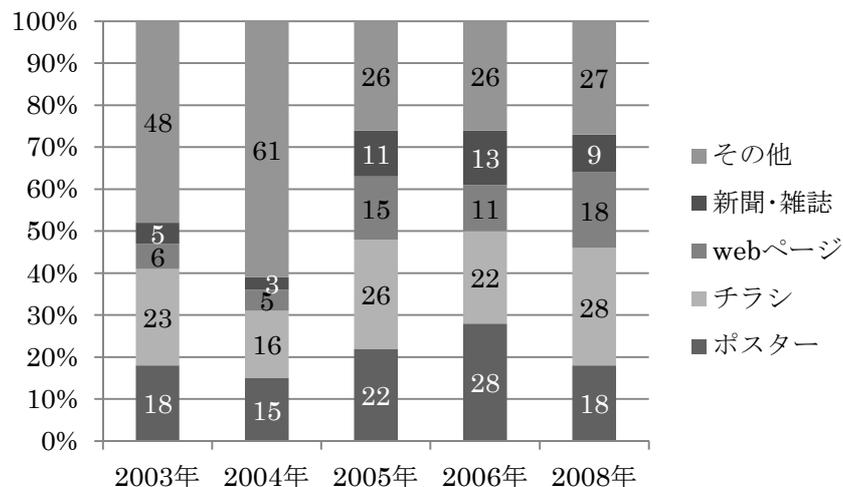
★チラシ、ポスター、中吊り、広告掲載料、横断幕を広告宣伝費とする。

・広告宣伝費推移（2003～2008）



【結果・考察】

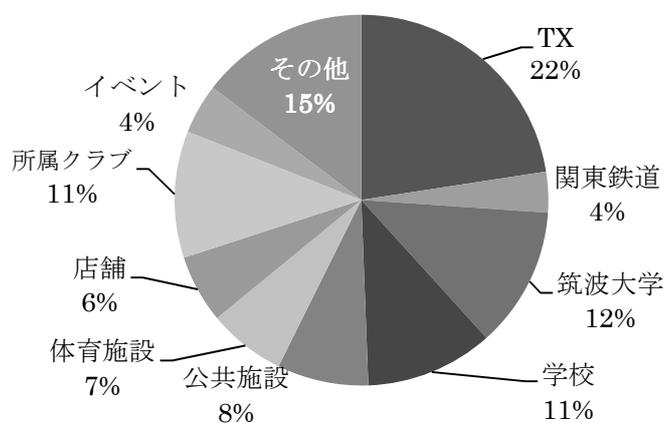
①来場につながった最大のメディア



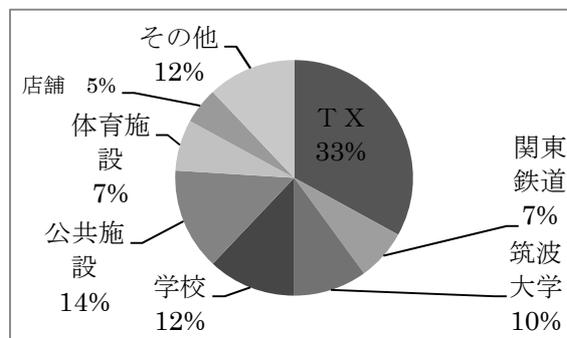
TUVの公式ホームページがリニューアルしたことにより、TUV情報をWEBで獲得する人が多くなったのか、2006年よりもWEBページ情報が来場動機につながった割合が7%上昇した。又プレスリリースが例年より少なかった為、新聞・雑誌の掲載が少なく、2005、2006年と比べると低い数字となってしまった。

②ポスター

有効回答数：253



参考：2006 東西インカレリサーチ結果

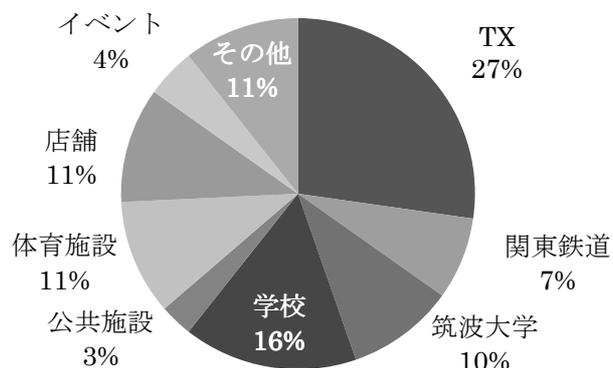


公共交通機関でのメディア（TX と関東鉄道）の割合が減り、出演団体によるポスター・チラシ配布がヒットした。又公共施設の増加は、2006 大会よりも多くの周辺市町村及び沿線区市町村（荒川区、柏市、流山市等々）に設置をとりつけることができたことに起因する。（後援手続き）

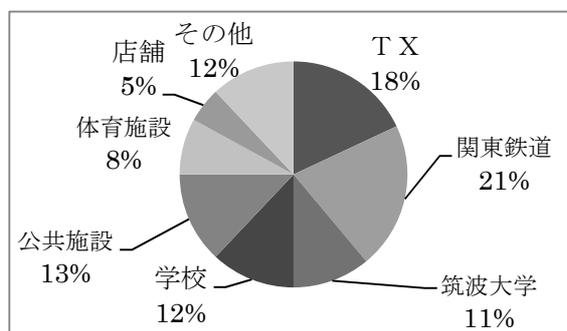


③チラシ(据え置き)

有効回答数：132

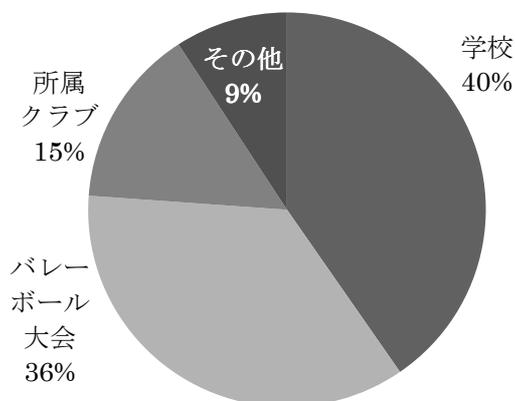


参考：2006 東西インカレリサーチ結果



④チラシ(配布)

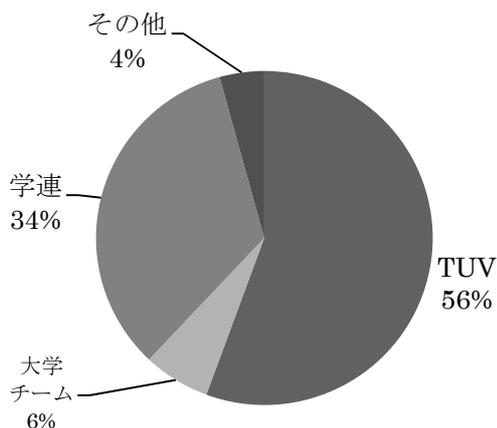
有効回答数：109



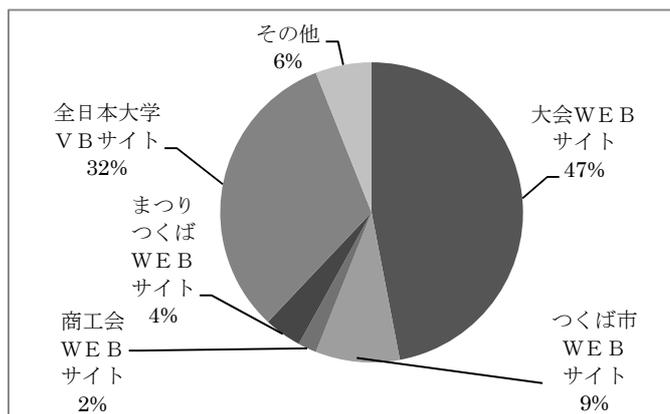
2008 の新しい試みとして、つくば市内及び土浦市内数校の学校全校生徒配布があった。初年度でここまで大きなシェアを占めることは予想外であった。しかし、配布した絶対枚数はバレーボール大会の方が圧倒的に少ない。東西インカレは、バレーボールのみならず多種多様な企画により、バレーボール志向のない人々を如何に巻き込んでいくかということをいつも課題としている。そのため、配布する絶対枚数に対して学校カテゴリーのパーセンテージを上げていくことが今後の目標となっていくと言える。

⑤WEB

有効回答数：187



参考：2006 東西インカレリサーチ結果

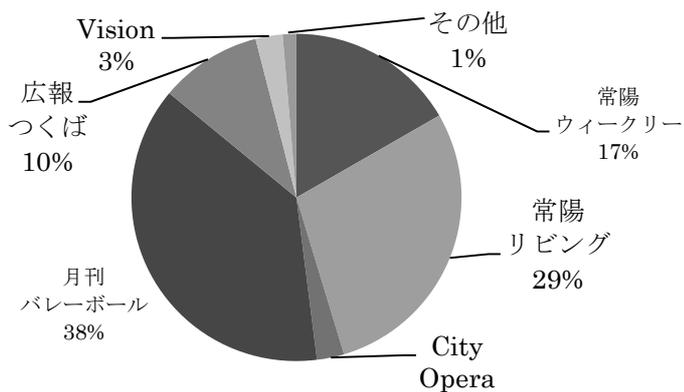


TUV 公式ホームページによる来場動機が 50%を超えている。大会直前 2 ヶ月間は一日約 2000 件、一ヶ月約 6 万件のアクセスがあった。これはほぼ過去最大と言える。

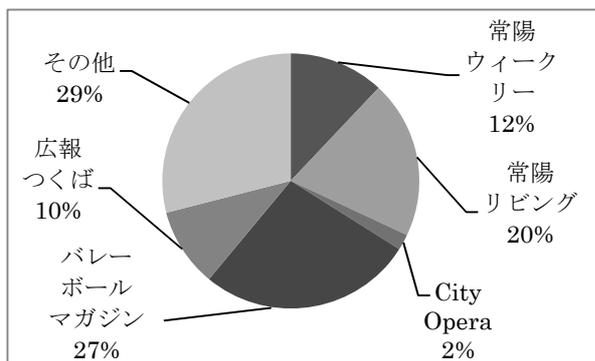


⑥新聞・雑誌

有効回答数：150



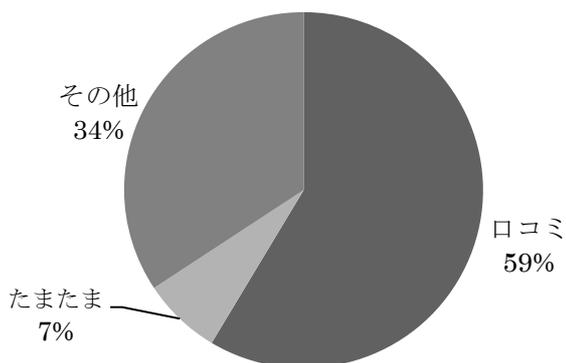
参考：2006 東西インカレリサーチ結果



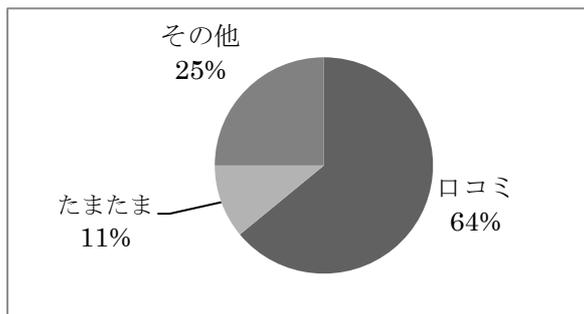
Vision、広報つくば、常陽リビング、常陽ウィークリー、City Opera は何れも対象区域がほぼ被った地域情報誌である。これらが全体の 61%を占めている。2006（44%）に比べて約 20%増しである。これは県外を含め広域を扱うメジャー新聞での掲載が例年に比べ非常に少なかったことが影響していることと思われる。

⑦その他

有効回答数：140



参考：2006 東西インカレリサーチ結果

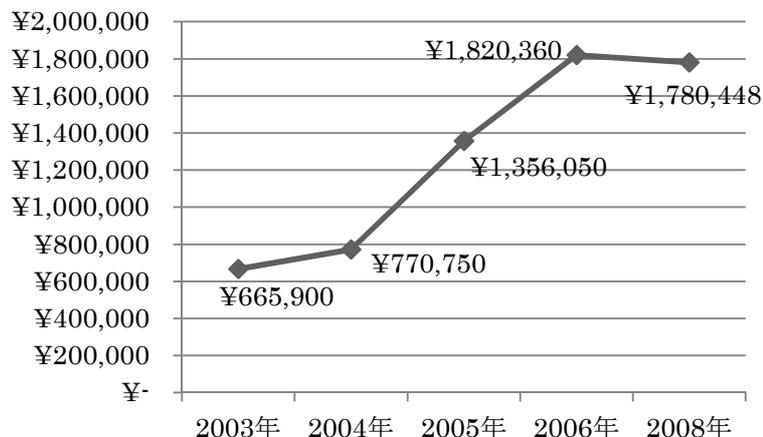


東西インカレの一般認知度が向上し、口コミではなくオフィシャルな情報網によって来場している経緯がうかがえる。



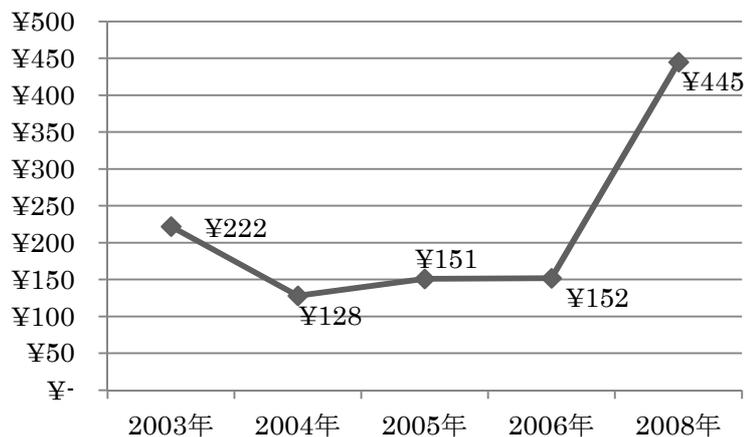
⑧ 広告宣伝費推移 (2003～2008)

※広告宣伝費とは、ポスター・チラシ・中吊り印刷費、広告掲載費、横断幕製作費の合算とする。



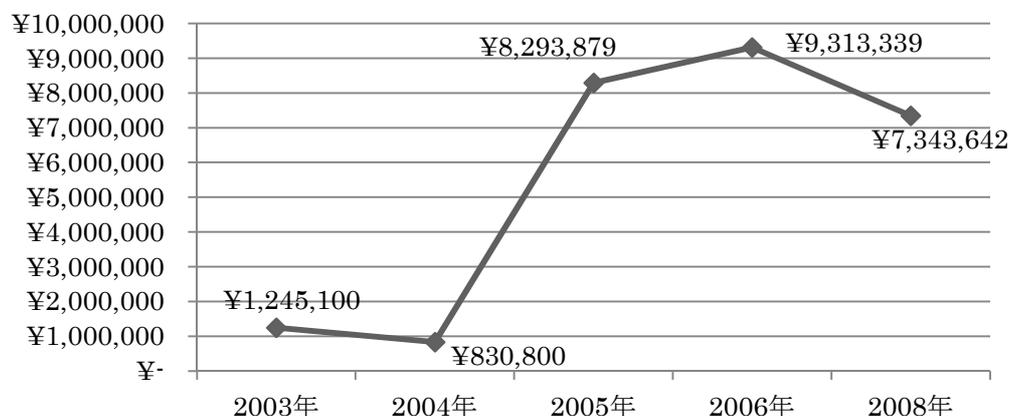
⑨ 観客動員数 対 広告宣伝費の効果推移 (2003～2008)

※観客一人来場させるのにどれくらいの宣伝費がかかっているか (広告宣伝費/観客動員数)



来場者が少なくなり 1 人あたりを呼び込む額が 2006 年に比べ 3 倍弱になっている。但し入場料を徴収しているということで、純粋な過去との比較は難しい。

⑩ 掲載メディアの経済対価推移





※メディア掲載露出内訳

2006 東西 インカレ	2006年6月	筑波大学新聞	13.6×6.7	¥0
	2006年7月	バレーボールマガジン8月号	2P	¥300,000
	2006年7月	筑波ジャーナル	7.0×16.5	¥0
	2006年7月	常陽ウィークリー	14.0×6.0	¥18,375
	2006年7月	常陽リビング	13.5×22.5	¥18,900
	2006年7月	B-Life	5.5×18.0	¥63,000
	2006年8月	バレーボールマガジン9月号	4P	¥600,000
	2006年8月	日宣Couta	13.0×22.0	¥100,000
	2006年8月	ぶらざ県南版	5.0×6.3	¥50,000
	2006年8月	広報つくば	5.5×17.8	¥30,000
	2006年8月	City Opera	1面23.6×24.8、1ページ、11.9×10	¥390,000
	2006年8月	広報つくば	6.0×5.9	¥7,500
	2006年8月	茨城放送	5分	¥100,000
	2006年8月	朝日新聞 茨城面	10.5×10.6	¥134,799
	2006年8月	常陽新聞	24.0×18.7	¥366,862
	2006年8月	茨城新聞	13.8×12.3	¥275,604
	2006年8月	茨城新聞	10.3×6.0	¥109,956
	2006年8月	朝日新聞 茨城面		¥51,450
	2006年8月	常陽新聞	17.0×17.8	¥271,127
	2006年8月	茨城新聞	10.3×10.8	¥213,486
	2006年9月	バレーボールマガジン10月号	3P	¥450,000
	2006年9月	広報つくば	11.0×12.5	¥30,000
	2006年10月	筑波スポーツ	11.4×26.0	¥0
	2006年8月	秋葉原UDXビジョン(PV放映)		¥360,000
	2006年7月	関東鉄道(高速バス・路線バス・常総線・各駅)	ポスター(B2)・チラシ(A4)・中吊り(B3)	¥2,618,280
	2006年7月	つくばエクスプレス 中吊り	B3	¥756,000
	2006年7月	つくばエクスプレス ポスター	B1	¥2,058,000
	2008 東西 インカレ	2008年7月	City Opera	13×14.5 10×12
2008年7月		広報つくば	14.2×10.7	¥45,000
2008年7月		常陽リビング	10.3×14.8	¥41,921
2008年7月		月刊バレーボール	6×8.5	¥20,247
2008年7月		常陽ウィークリー		¥-
2008年7月		Vision	29.6×21	¥-
2008年7月		関東鉄道(高速バス・路線バス・常総線・各駅)	ポスター(B2)・チラシ(A4)・中吊り(B3)	¥2,618,280
2008年7月		つくばエクスプレス 中吊り	B3	¥3,609,600
2008年7月		つくばエクスプレス ポスター	B1	¥1,000,000

【結論】

2008 大会では全校生徒チラシ配布やTXでの早期宣伝を実施し、新たな試みとしては一定の成果を残したと言える。またデザインに凝った伝統のポスター、チラシを中心としたプロモーションも順調に進んだと言える。しかし来場者数が4000人で頭打ちとなってしまった原因をプロモーションの観点から整理すると以下2つになるといえる。

1) パブリシティや都市新聞等でのプロモーション活動が希薄になっていたこと。

(掲載メディアの経済対価低下)

2) ラジオ局、地方テレビ局含め、マスメディアに対する積極的営業行為が絶対的に不足していたこと。

一方で、チケット制を本年度からいよいよ導入したわけだが、初年度にしては(大学イベントとして)上々であったといえる。今後は、このチケット自体を様々な地域資源と結び付け、その付加価値を高めていくことが集人力向上への課題となる。



2) ブランドエッセンス浸透効果

【目的と評価判断要素】

東西インカレを認知した人々に、TUV の理念「Sports for all, All for sports」(ブランドエッセンス) がどれ程浸透していたかを明確にする。

1. なぜ東西インカレに足を運ぼうと思ったのか？

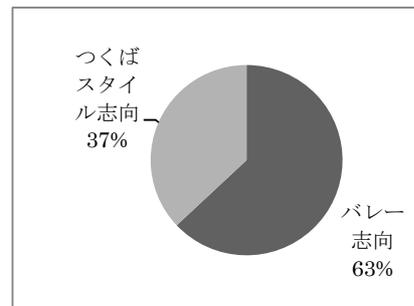
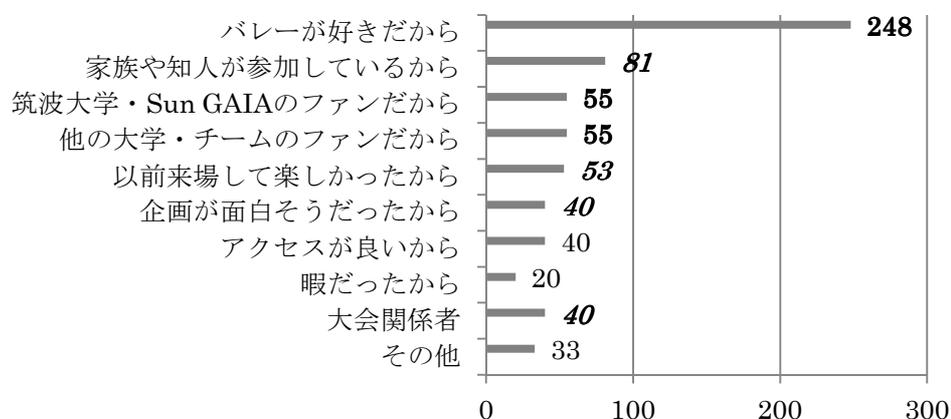
⇒来場者の来場動機の分散度合い及びバレー的動機因子と一般的動機因子の割合

2. 「Sports for all, All for sports」はどれほど浸透しているのか？

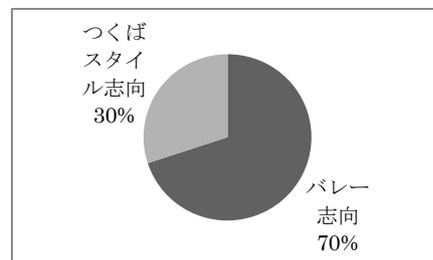
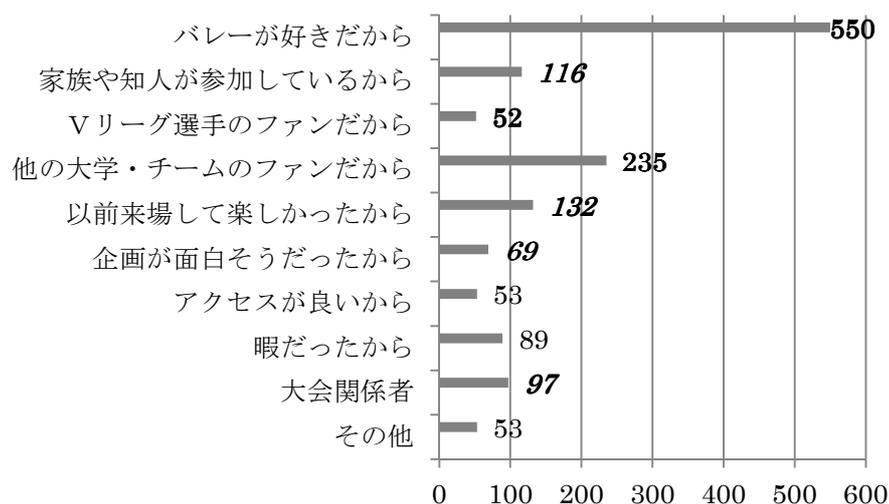
⇒2003～2008 東西インカレ来場者推移

【結果】

①来場の動機 (バレー志向；バレー的動機因子、太字・つくばスタイル志向：一般的動機因子、**斜線太字**)



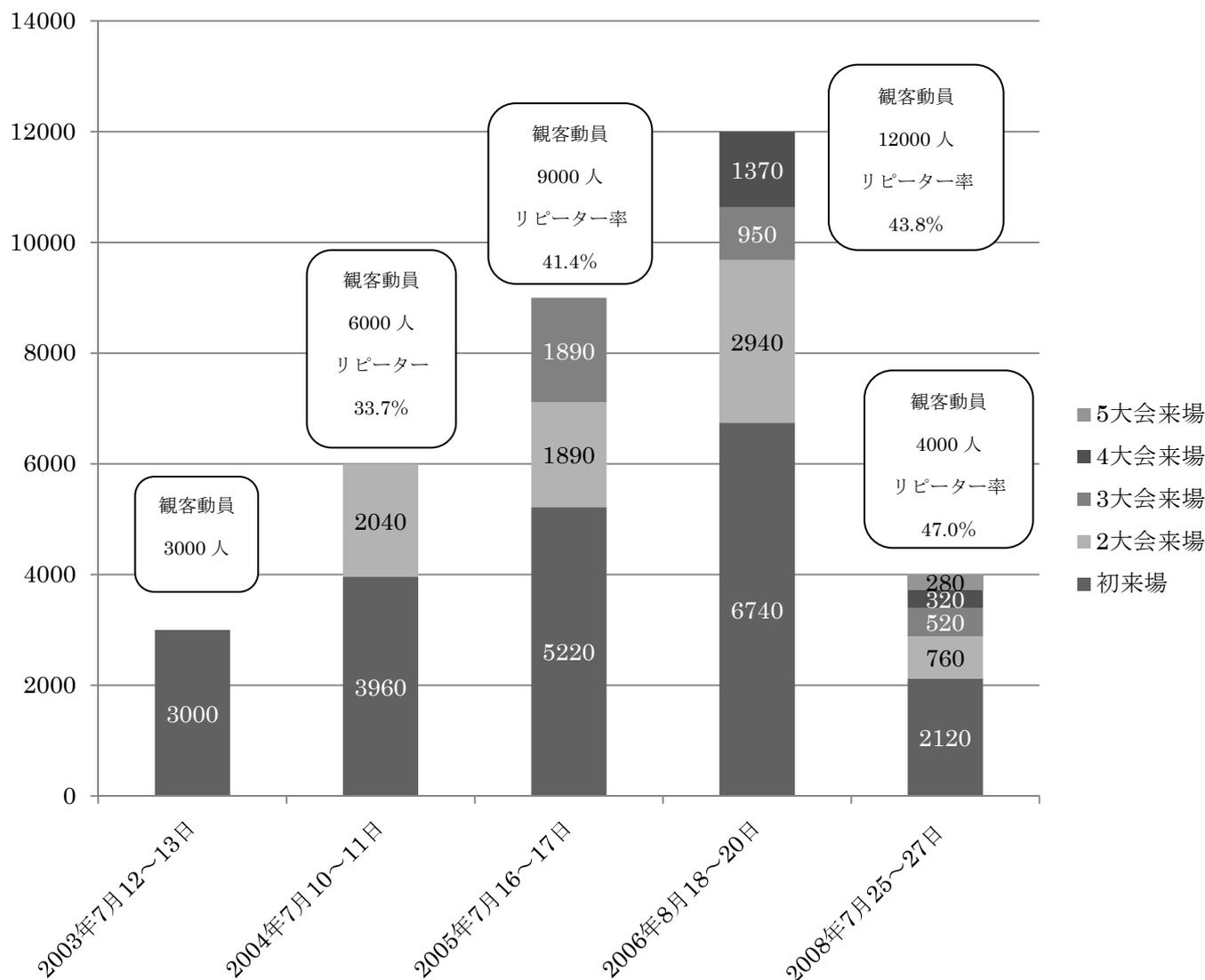
参考：2006 東西インカレリサーチ結果



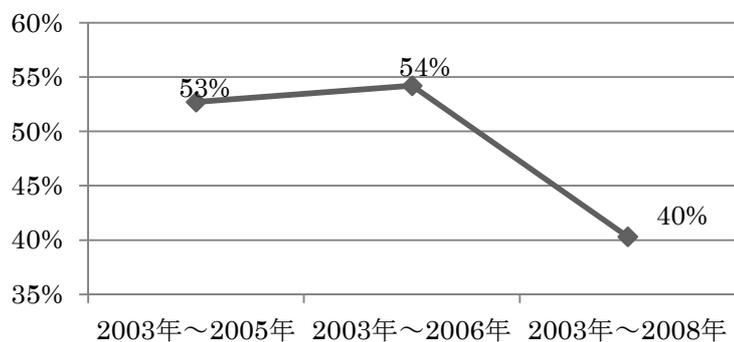
来場動機は、バレーが好きという項目が常にトップであることはさておき、その他の項目の分散が進んでいるのが読み取れる。特に 2008 は 2006 に比べ、ややバレー以外の動機に高まりを感じる。この数値の大きさが本大会の理念の浸透具合を示すひとつの指標となる。



②2003～2008 東西インカレ来場者推移 (※リピーター率)



③東西インカレリピート率



※リピーター率…ある時の来場者の中に占めるリピーターの割合

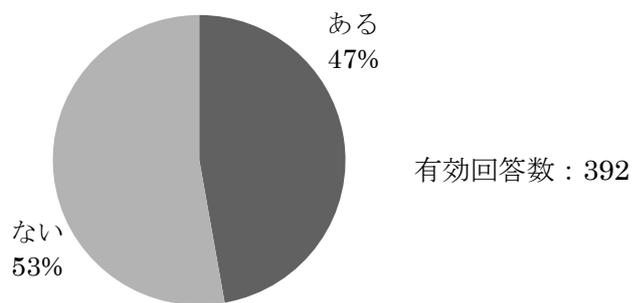
$$\text{リピーター率} = (\text{当該年度のリピーター}) / (\text{当該年度の全来場者})$$

※新規リピート率…新規でご来場したお客様がある期間内にもう一度来場する割合

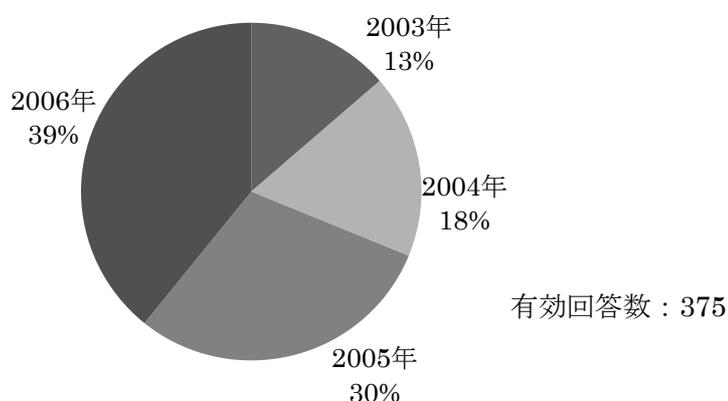
$$\text{リピート率} = (\text{当該年度までの2大会来場者}) / (\text{当該年度の前年度までの初来場者})$$



④過去つくばで開催された東西インカレを観戦したことはありますか？



⑤東西インカレ観戦割合



【結論】

リピーター率は、例年リピーターの数を大きく追い抜く新規のお客さんが来ていた為になかなか数字が上昇しなかった。(リピーター率<リピート率の関係を維持することが良好)しかし2008大会では過去最大の数値を出した。ただその数字は左程大きな値ではなかったといえる。むしろ夏真っ盛りでイベント真っ盛りの日程で、数あるイベントや予定等万難を排して来場して頂いた新規のお客さんがいたということである。このことは逆にこれまでご来場いただいていたリピーターの方々の来場が新規層の減少以上に落ち込んだといえる(リピート率40%)。このことは地元筑波大学の競技力と大きな関係があると思われる。というのも例年優勝決定戦に照準を合わせてご来場されるお客様が多く、筑波大学の試合時とそうでない時間との間における滞在者数の相違は年々桁違いに異なってきたからである。このように考えると東西インカレが如何にユニバーサルなイベントとはいえども、やはり筑波大学バレーボール部の地元からかかる期待の大きさが主であるということが改めて伺える。



3) 社会効果

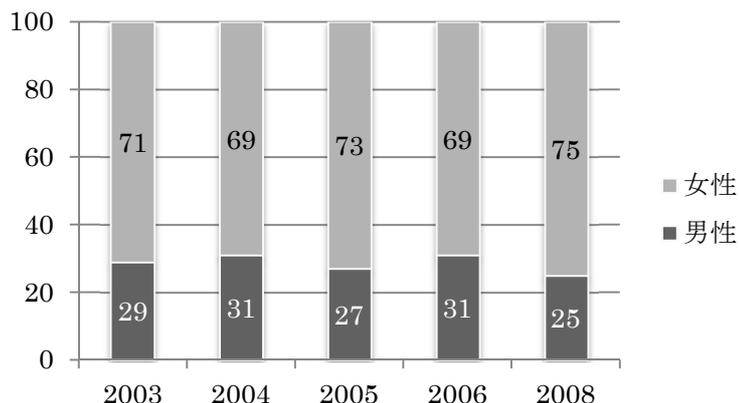
【目的と評価判断基準】

東西インカレに来場した人々の属性（性別・住まい・年齢・競技経験・観戦習慣）の傾向を読み取り、「Sports for All, All for Sports」を理念とした東西インカレに来場する人々（観客）の多様性を分析する。

【結果】

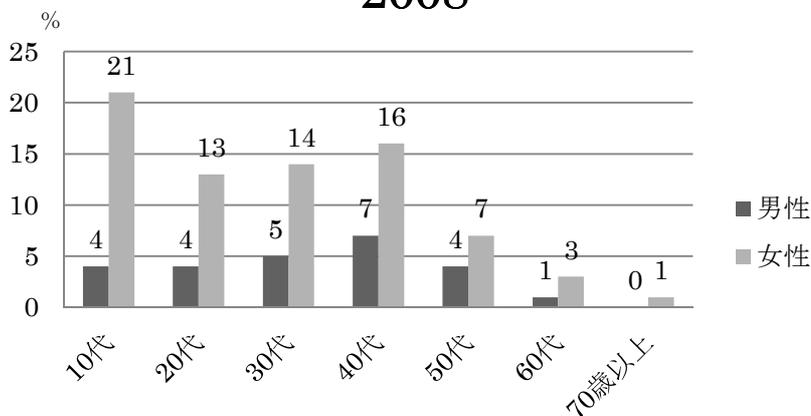
1. 来場者の属性はどのようなものか？（性別、住まい、年齢、競技経験、観戦習慣）

①性別について

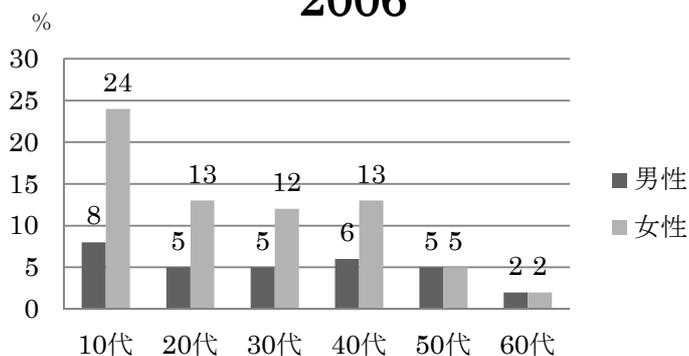


有効回答数：402

2008



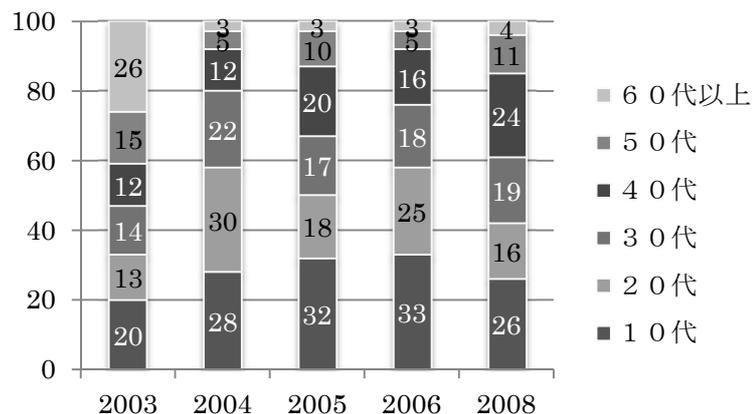
2006



これまでの大会の中で女性の割合が最も高くなった。その要因の一つとしては、“2008SAKAI OVEX ジャパンアスリートマッチ”で女子Vプレミアチームの試合が行われたことによるのではないかと推測される。



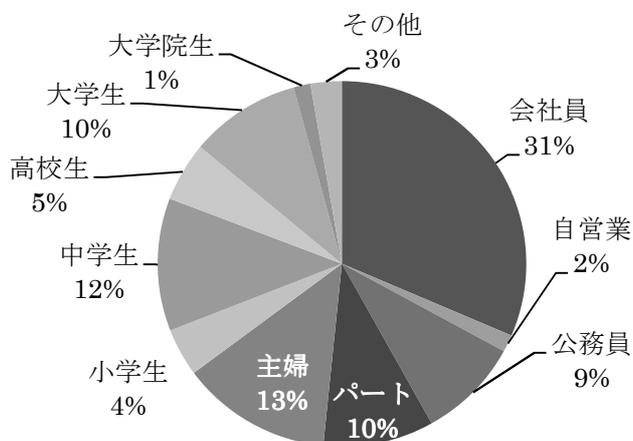
②年齢について (%)



年配の方の来場割合が多くなり、多世代が来場する特徴をもった東西インカレが、さらにその特徴を鮮明に表わす結果となった。

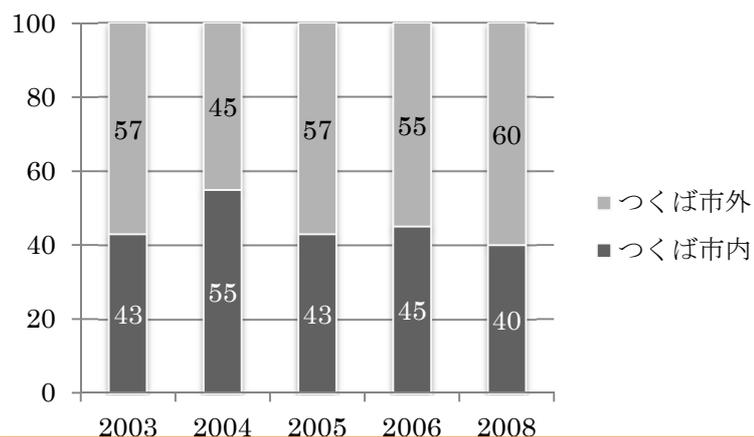
有効回答数：398

③職業について



有効回答数：401

④お住まいについて

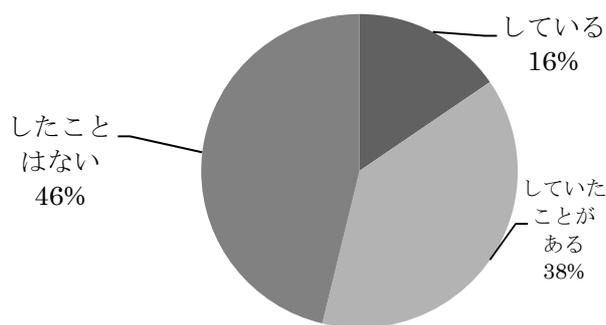


有効回答数：394

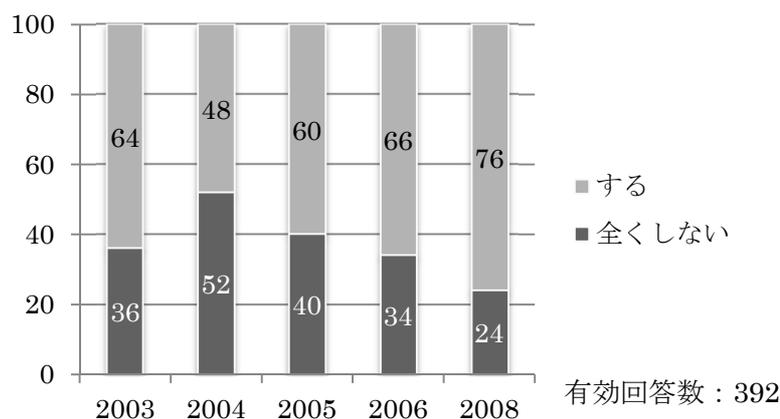
つくば市外からの来場者の割合が最も多い年となった。その要因として考えられるのは、TXの定着も考えられるが、これには出場大学のファンと地元筑波大学のファンとの相対的な割合が関与しており、特に筑波大の競技力が大きく影を落としているのではないかと考えられる。



⑤ バレーボールをしたことがありますか？

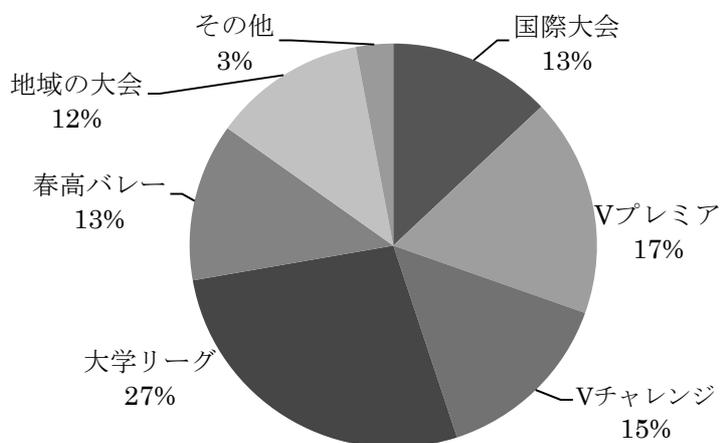


⑥ 普段バレーボールを観戦しますか？



年々東西インカレにおける観戦未経験者が減っている。これは新規のお客様層に玄人層が流入してきていることが伺える。

⑥ 主な行き先



有効回答数：641

【結論】

東西インカレの理念となる「ユニバーサル性」の追求は 2008 大会でも健在であったといえる。バレーボールイベントにありがちな 20 代女性に偏ることなく、また老若男女、市内市外、バレー経験未経験関係なく、多岐にわたる属性の方々が来場されていたといえる。但し、やや全くバレーとは疎遠な層をターゲットとした新規普及という面では若干落ち込んでいるといえる。より大衆化したイベントしていくためにはこの部分への新たな挑戦が必要である。その為には地元大学云々、バレーボール云々を問わず、「興奮」と「熱狂」、そしてそこに「感動」する自分を求めて来場するような人々を教育普及していく必要がある。こうしたことの慣習化自体がスポーツの社会効果そのものを顕在化していくといえるのではないだろうか。



4) 経済効果

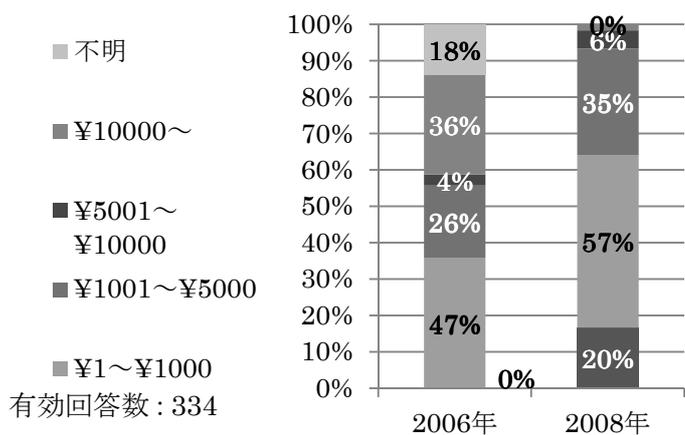
【目的と評価判断要素】開催期間中に生じた二つの経済活動(経営能力・市場経済)をめぐる、効果を明らかにする。

1. 会場内における経済活動がどのくらいの価値であったのか

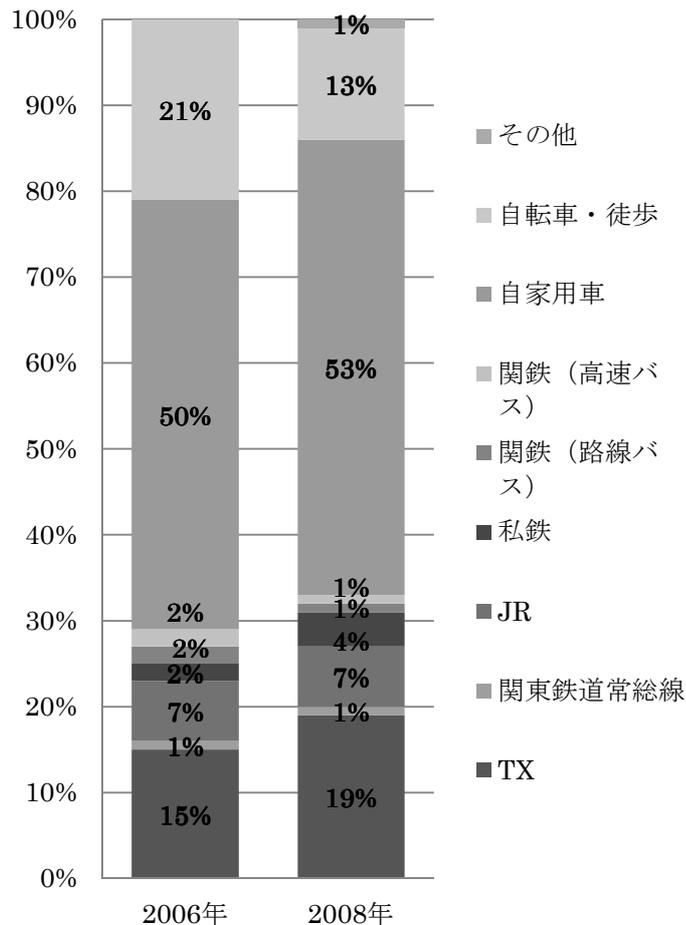
⇒会場内における各イベントの売り上げを明らかにする。

【結果】

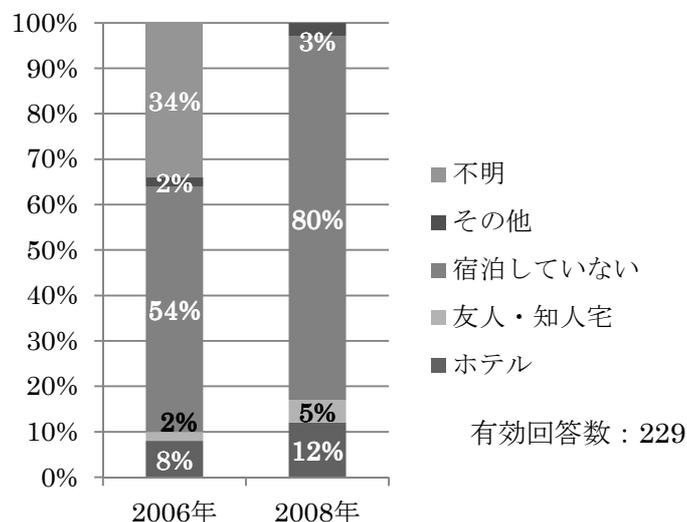
①会場内で使用した金額



③利用した交通機関



②宿泊について





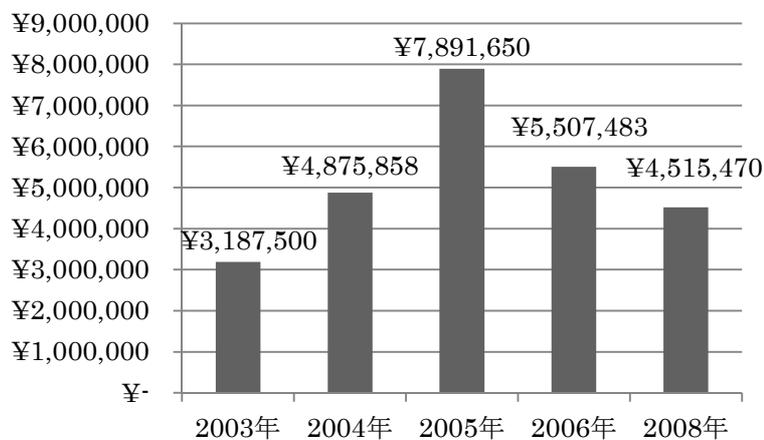
④会場内経済効果

項目		売上			3日間 TOTAL
		25日	26日	27日	
センターコート	チケット		¥513,600	¥599,000	¥1,112,600 (1206枚) ※ジュニアチケット 640枚配布
1stステージ ジスベシャル	チケット		¥197,000	¥149,000	¥346,000
ビアガーデン	チケット	—	¥961,800	—	¥961,800
スクエア ガーデン	Sun GAIA station	¥264,200	¥399,000	¥682,500	¥1,384,250
	より味ち	—	¥52,500	¥49,500	¥102,000
	お食事処よしば	—	—	—	¥64,200
	ミラインディアン レストラン	—	¥38,600	¥36,400	¥75,000
	学園手造りハムの会	—	¥43,400	¥30,800	¥74,200
	よしむらミート	—	¥41,800	¥32,500	¥74,300
	香辛飯屋	—	¥63,600	¥60,200	¥123,800
	筑波大学北海道 民会	—	¥35,300	¥38,200	¥73,500
	利根コカ・コーラ ボトリング株式 会社	—	—	—	¥95,820
	アルケア株式会 社	—	—	—	¥28,000
TOTAL		¥264,200	¥2,346,600	¥1,678,100	¥4,515,470

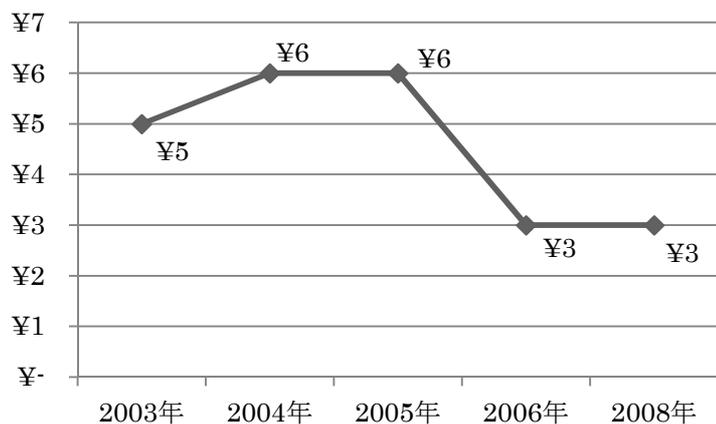


⑤経済効果推移

※経済効果に含まれるのは、グッズ売上、フードコート売上（協賛社含む）、パーティー売上、チケット売上（2008年～）とする。

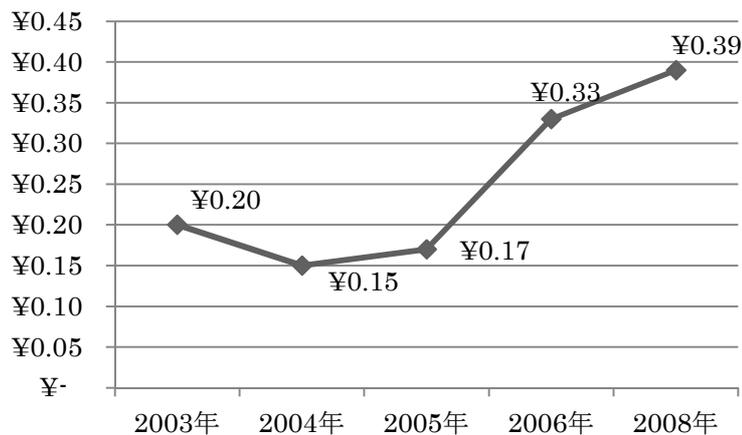


⑥広告宣伝費対経済効果（広告宣伝費¥1あたりいくらの経済効果を生み出しているか）



※経済効果/広告宣伝費

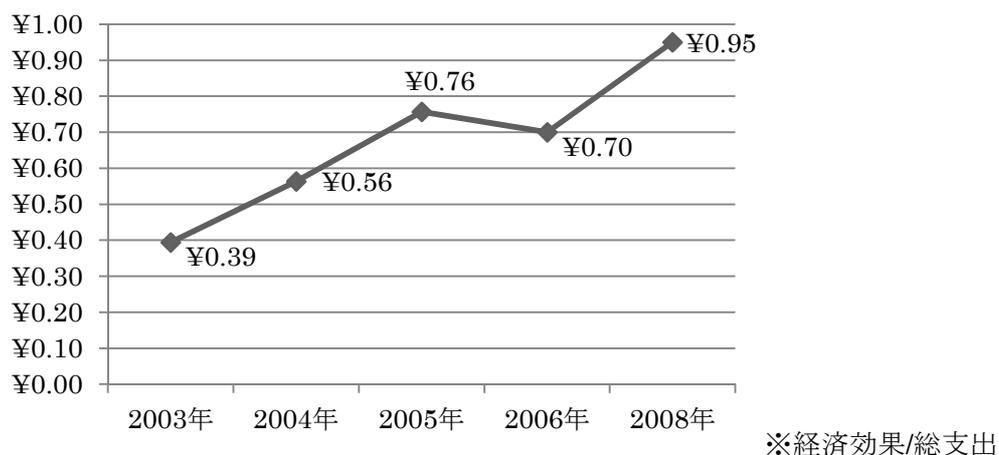
⑦広告宣伝費対経済効果（経済効果¥1あたりいくらの広告宣伝費がかかっているか）



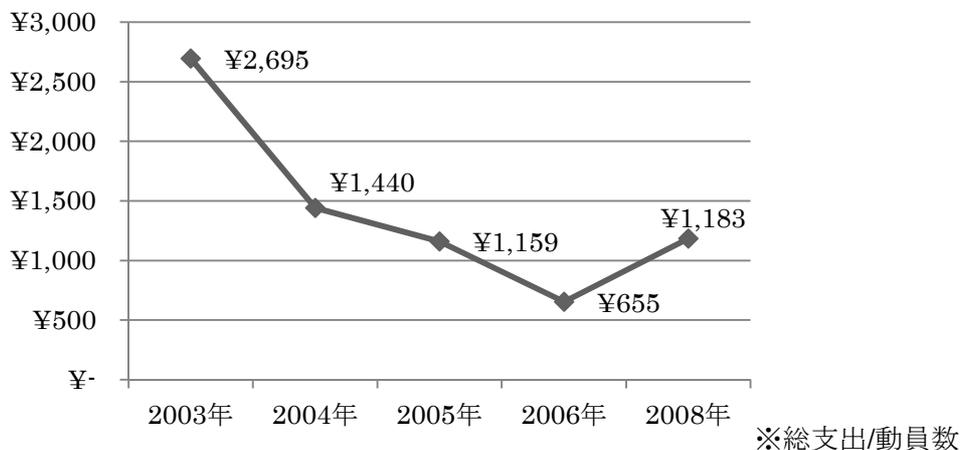
※広告宣伝費/経済効果



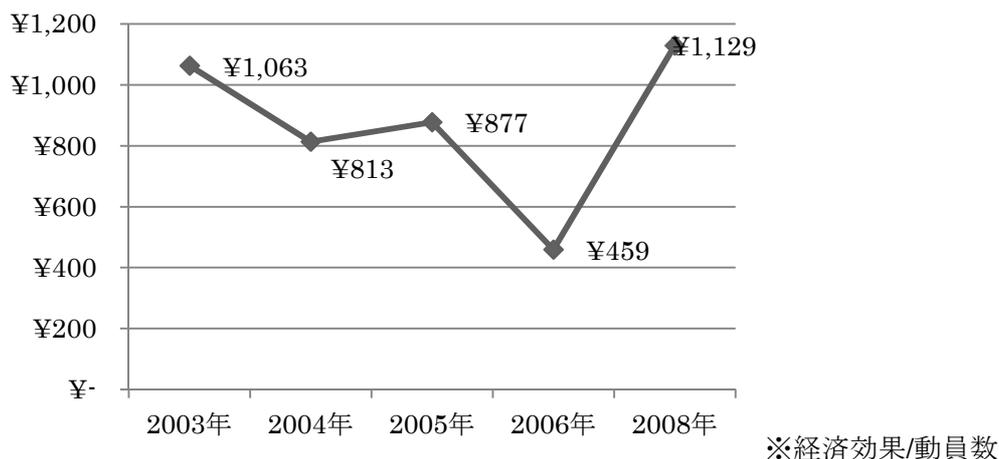
⑧総支出対経済効果（支出¥1によっていくらの経済効果を生み出したのか）



⑤総支出対動員数効果（1人動員するのにいくらかかっているか）



⑥動員数対経済効果（1人あたり会場内での消費活動費はどのくらいか）



【結論】

2008大会は、絶対的な経済効果及び経済波及効果が歴代二位の低さであったが、コストパフォーマンスは最も効率が良く、動員数あたりでは一番高い数値を出した。これは入場有料であったことも大きく関係している。一方で財政支出が、消耗品費、通信運搬費、会議費（賄いの実施）で大きく抑えられたことも大きな要因であった。



5 ブランディング効果

【目的と評価判断基準】

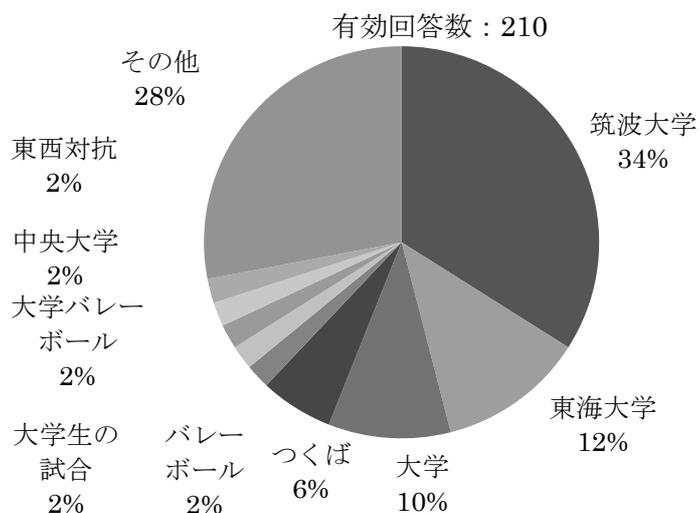
東西インカレを通して、来場者や選手の心に何が残ったのか（何がブランディングされたか）をここでは考察する。

1. 東西インカレブランドは、どのような印象か？

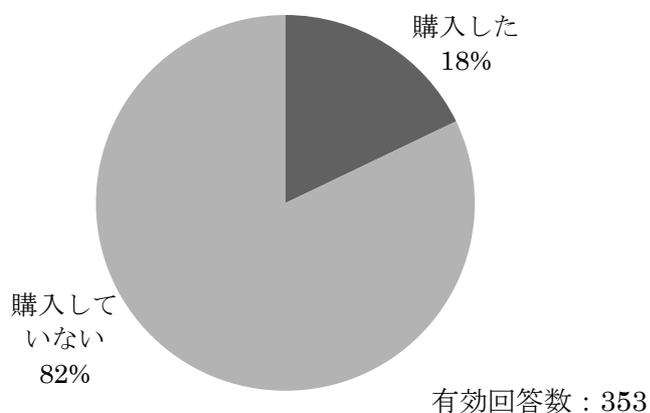
- ⇒ ・東西インカレからイメージするもの
- ・東西インカレオリジナルプロダクトの購入率

【結果】

①東西インカレイメージ

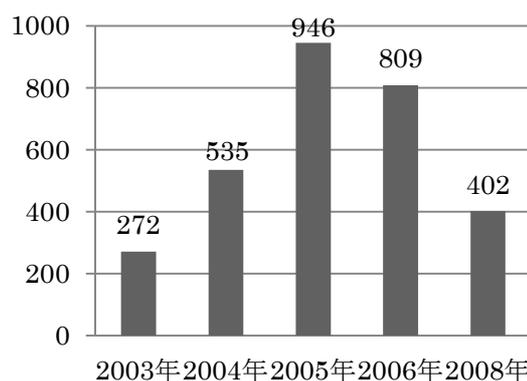
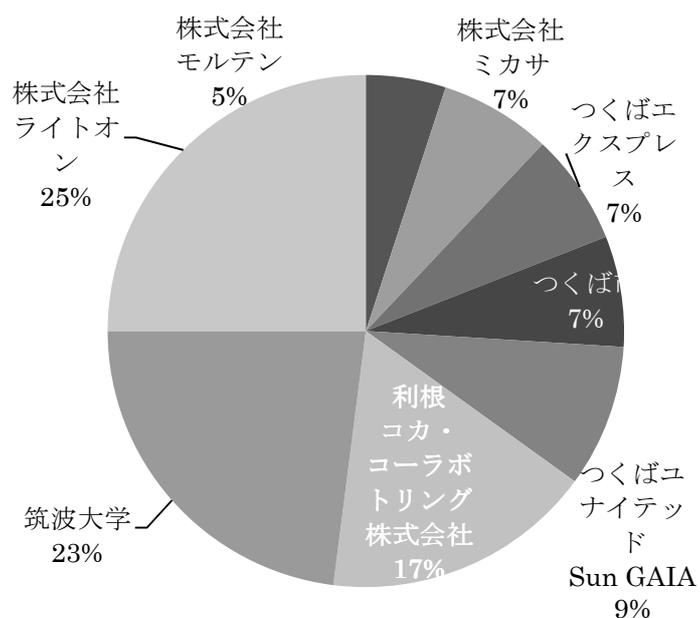


②東西インカレオリジナル『繋ぎの神髄Tシャツ』購入状況



※イベントTシャツの売り上げ枚数推移

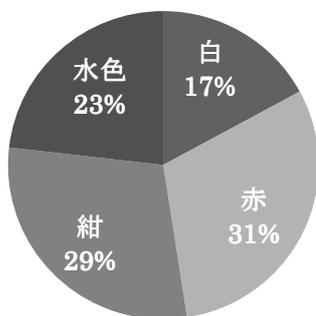
参考：2006東西インカレリサーチ結果





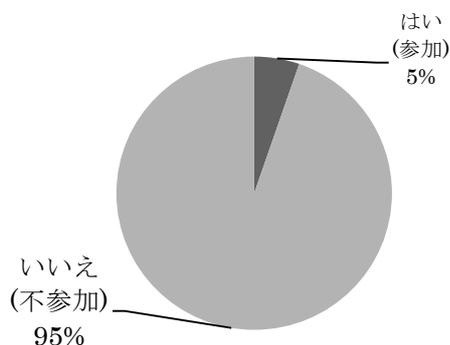
③東西インカレオリジナル『繋ぎの神髄Tシャツ』

購入カラー



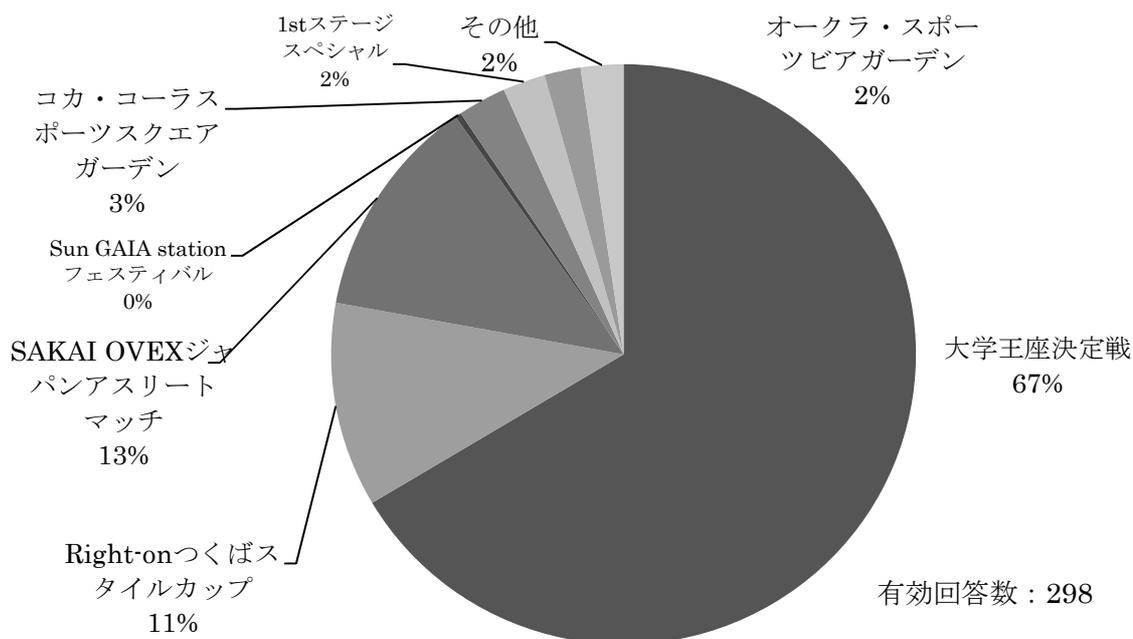
有効回答数：82

④アシックスカップに参加しましたか？



有効回答数：303

⑤最も印象に残ったイベントは？



有効回答数：298

【結論】

東西インカレのブランドイメージとしては、やはり筑波大学、そしてつくばユナイテッドであることは定着しているようだ。又 2006 では協賛企業の名前がブランドイメージとして出てきていた。このことは企業にとってもこのイベントに参画する大きなメリットができたのではないかと感じる。又グッズの売れ行きに関しては、やはりイベントにVリーガーが来るか来ないかで大きな違いがあることが考えられる。総観客動員数あたりでみたグッズの売り上げ枚数を考えると、2005 大会が最も売れ行きがよく、2008 大会はそれに次ぐ売れ行きであったといえる。両大会ともにVリーガーの参加人数が最も充実していた年である。



10. 2008 東西インカレ開催及び運営総評

2008 夏 東西インカレ、一過性から持続性へ・・・

2008 東西インカレ実行委員会 エグゼクティブプロデューサー
松田 裕雄

東西インカレ！ここで私達が目指すものは、地域、世代、志向を越え、いつの時代であっても変わらぬ人間の魅力、これに満ち溢れた空間を創出し続けていくことです。それは「人が粋、意気と、活きている」瞬間が豊かに彩られた空間であり、どんな人をも「元気に、幸せ」にしてくれる空間です。東西インカレでは、このように「バレーボールの大会」を越えた「生きる空間」＝「生きるまち」づくりを目指してこれまで取り組んできました。

2003 大会が邂逅、2004 大会が融合、2005 大会が誕生、2006 大会が開拓の年でした。これは、企画そのものの特性を表現したものであると同時に、大会自体及び大会の運営主体をひとつの人格としてみた場合の成長過程を表しています。

最初の取組期であった 2003 大会から 2006 大会は、自分を含め、志を同じくする学生同士が集まり、まさにエネルギーと信念ひとつで強力に汗をかいてきた時期でした。集大成であった 2005、2006 大会は結果の通り過去最大の経済効果を弾きだし、つくば発Vリーグクラブまで創り出すという強大なエネルギーを発揮しました。まさにスポーツ版の新世紀型学生運動でした。

しかし、これだけ強大なエネルギーを放出し続ける期間はそう長くはなく、当時主力であった学生は、大きな社会貢献実績を残し、其々の道へと立派に旅立って行きました。

2008 大会では、このような伝統を背景に、テーマは「一過性から持続性へ」の出発であったと思います。「夏の風物詩」として地域に定着及び密着した持続可能なイベントとする初年度として、2008 大会は挑戦の年でした。

持続性へ向け、挑戦した内容は、以下 5 つでした。

- 1) 持続的自立をめざした入場料の有料化
- 2) 地元資源との更なる融合を目指し、茨城ゴールデンゴールズ、DAS と連携企画をプロデュース（パーティー及びダンスコンテスト）
- 3) サービス向上を目指し、初の試みとして女子Vリーガーのエキジビションを実施
- 4) 主体となるNPO法人つくばユナイテッドVOLLEYBALLの職員を中心とした組織づくり
- 5) 大学（学生）よりも地域の人的資源を最大活用

これらは、何よりも地元協力者の積極的支援のお陰で、当日の時間的遅れは生じたものの初年度としてはどれも滞りなく完結でき、非常にいい形であったと思います。考察詳細は右図のように向上点と今後の課題点に分けて整理しました。そして今後持続可能な発展的イベントとしていくには、以下 5 つの事項があげられます。



	創成力・地域力	教育力	普及力・競技力
向上・前進事項 今後の課題事項	☆つくば市の協力度向上 ・自立を見越した共催措置及び減免措置 ☆近隣市町村の協力度向上 ・学校全校生徒チラシ配布 ☆自主財源力向上 ☆コストパフォーマンス向上	☆地元中学校、高校生のボランティアスタッフの増加 ☆バレーボール連盟はじめ、地元父兄の積極的協力 ☆多世代、他志向な運営組織への理解	☆最終順位決定戦導入による大学生の競技力向上 ☆来場者のユニバーサル性健在 ☆入場有料化への移行完了によるスポーツの価値向上
	★持続可能な運営手法の確立（知縁による絆の結束） ★地域マス・メディアの最大活用 ★日々の持続的な地域交流の実践	★NPO法人つくばユナイテッドの統治能力の向上 ★大学における質の高い教育プログラムへの再構築	★魅せるスポーツとしての大学バレー競技の更なる研磨 ★スポーツの魅力創出へ向けた企画力向上 ★リピーター率<リピート率の関係性を再構築

- 1) 統治機関となるNPO法人つくばユナイテッド VOLLEYBALL の調整力や行動力の向上
- 2) 大学における「イベントづくり」を通じた質の高い教育プログラムの開発と実践
- 3) 筑波大学の競技力向上
- 4) 夢・思い・意思を共有できる地域知縁を創り、これを日常化していくこと
- 5) 開催日の定着

※開催日に関して、本年度は例年と異なった日程で行うことで、下記のような大祭典と日程が被ってしまった。

TX八潮駅開業3周年記念フェスタ・夏の祭典！柏まつり・第11回すみだサマーフェスティバル（隅田川花火大会）・第5回筑波山頂七たまつり市・いしおか七たまつり@石岡市・土浦祇園祭@土浦市・茨城ゴールデンゴールズ つくばシリーズ・国立環境研究所「夏の大公開」・産学技術総合研究所 一般公開

東西インカレは今も、そしてこれからも発展途上であり続けます。そしてこの地に、地元大学云々、バレーボール云々を問わず、「興奮」と「熱狂」、そしてそこに「感動」する自分を求めて人々が来場するような習慣が定着し、元気が日常的に飛び交うような慣習が創れば幸いです。こうした「スポーツの大衆化」がスポーツの社会効果そのものであり、ひとやまちを顕在的に元気に幸せにしていけるのではないかと考えています。

2008 東西インカレバレーボール男子王座決定戦 in つくば

今年も様々な人々の元気と思いによって創られてきました。これからはその元気や思いの先に「やりがい」や「自己実現」、「社会実現」そして「充実」が残るよう持続可能な取組にしていきたいと考えています。ご協力、ご賛同頂きご尽力頂きました数多くの皆様にこの場を借りて、厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

11. 実行委員会全名簿



セクション名	氏名	役職	所属
	都澤凡夫	トーナメントディレクター	筑波大学、つくばユナイテッドVOLLEYBALL
	松田裕雄	エグゼクティブプロデューサー	筑波大学、つくばユナイテッドVOLLEYBALL
ココ・コーラススポーツスクエアガーデン	石川健	ココ・コーラススポーツスクエアガーデン 園長・アシックスカップリーダー	つくばユナイテッドVOLLEYBALL
ココ・コーラススポーツスクエアガーデン	大西徹郎	実行委員	筑波大学大学院
ココ・コーラススポーツスクエアガーデン	村松俊輔	実行委員	筑波大学体育専門学群
ココ・コーラススポーツスクエアガーデン	椿山竜介	実行委員	筑波大学体育専門学群
ココ・コーラススポーツスクエアガーデン	木原忠相	実行委員	筑波大学体育専門学群
ココ・コーラススポーツスクエアガーデン	西田恵子	実行委員(アシックスカップ)	筑波大学体育専門学群
ココ・コーラススポーツスクエアガーデン	橋本幸枝	実行委員(アシックスカップ)	筑波大学体育専門学群
ココ・コーラススポーツスクエアガーデン	大木貴之	実行委員(アシックスカップ)	宇都宮大学教育学部
ココ・コーラススポーツスクエアガーデン	鞍掛勇樹	実行委員(アシックスカップ)	筑波大学大学院
ココ・コーラススポーツスクエアガーデン	白取和也	実行委員	筑波大学体育専門学群
ココ・コーラススポーツスクエアガーデン	小川将司	実行委員(センターステージ)	つくばユナイテッドVOLLEYBALL
ココ・コーラススポーツスクエアガーデン	黒住千恵	実行委員	筑波大学自然学類
ココ・コーラススポーツスクエアガーデン	浜名真幸	実行委員	筑波大学国際総合学群
ココ・コーラススポーツスクエアガーデン(Sun GAIA station)	浦田哲平	実行委員	ニプロ株式会社
ココ・コーラススポーツスクエアガーデン(Sun GAIA station)	佐々木絵理	実行委員	株式会社リクルート
ココ・コーラススポーツスクエアガーデン(Sun GAIA station)	鈴木文子	実行委員	つくば市体育協会
ココ・コーラススポーツスクエアガーデン(Sun GAIA station)	田邊志帆子	実行委員	筑波大学医学専門学群
インカレセンターコート	坂上友恵	センターコートリーダー、演出TEAMリーダー	つくばユナイテッドVOLLEYBALL
インカレセンターコート	中谷祐至	演出TEAM(筑波大学体育会スポーツギャラリー)	筑波大学体育専門学群
インカレセンターコート	大平めぐみ	演出TEAM(企画進行)	筑波大学医学専門学群
インカレセンターコート	永岡千鶴	演出TEAM(企画進行)	筑波大学医学専門学群
インカレセンターコート	岩橋美咲	演出TEAM(企画進行)	筑波大学医学専門学群
インカレセンターコート	菊池孝一	演出TEAM(筑波大学体育会スポーツギャラリー)	つくばユナイテッドVOLLEYBALL
インカレセンターコート	三原鉄也	演出TEAM(筑波大学体育会スポーツギャラリー)	筑波大学大学院
インカレセンターコート	櫻井祐季	演出TEAM(筑波大学体育会スポーツギャラリー)	筑波大学芸術専門学群
インカレセンターコート	間中拓人	演出TEAM(アナウンス・音響)	筑波大学社会学類
インカレセンターコート	井上弓子	演出TEAM(アナウンス・音響)	筑波大学THK
インカレセンターコート	竹浪一彰	演出TEAM(アナウンス・音響)	筑波大学THK
インカレセンターコート	高橋智紀	演出TEAM	筑波大学芸術専門学群
インカレセンターコート	平本貴宏	競技TEAMリーダー	関東大学バレーボール連盟
インカレセンターコート	布施峰志	競技TEAM	関東大学バレーボール連盟
インカレセンターコート	田頭悠希	競技TEAM	関東大学バレーボール連盟
インカレセンターコート	房野健太	競技TEAM	関東大学バレーボール連盟
インカレセンターコート	鍋島尚之	競技TEAM	関東大学バレーボール連盟
インカレセンターコート	佐藤貴美	競技TEAM	関東大学バレーボール連盟
インカレセンターコート	本城由香里	競技TEAM	関東大学バレーボール連盟
インカレセンターコート	竹腰晃明	競技TEAM	関東大学バレーボール連盟
インカレセンターコート	野田昭平	競技TEAM	関東大学バレーボール連盟
インカレセンターコート	中司大地	競技TEAM	関東大学バレーボール連盟
インカレセンターコート	塚越健司	競技TEAM	関東大学バレーボール連盟
インカレセンターコート	坂本竜之介	競技TEAM	関東大学バレーボール連盟
インカレセンターコート	岡部竜太	競技TEAM	関東大学バレーボール連盟
インカレセンターコート	孫谷 郁	TEAM Sun GAIA インターシップ	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
インカレセンターコート	孫谷 柚	TEAM Sun GAIA インターシップ	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
インカレセンターコート	生稲 健太郎	TEAM Sun GAIA インターシップ	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
インカレセンターコート	長山 留奈	TEAM Sun GAIA インターシップ	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
インカレセンターコート	塚本 裕美子	TEAM Sun GAIA インターシップ	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
インカレセンターコート	塚本 真依子	TEAM Sun GAIA インターシップ	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
インカレセンターコート	中山 優斗	TEAM Sun GAIA インターシップ	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
インカレセンターコート	中山 莉里香	TEAM Sun GAIA インターシップ	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
インカレセンターコート	菊地 彩花	TEAM Sun GAIA インターシップ	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
インカレセンターコート	稲葉 拓也	TEAM Sun GAIA インターシップ	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
インカレセンターコート	菅原 香織	TEAM Sun GAIA インターシップ	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
インカレセンターコート	奥山 素代香	TEAM Sun GAIA インターシップ	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
インカレセンターコート	若松 音於	TEAM Sun GAIA インターシップ	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
インカレセンターコート	飯田 葉	TEAM Sun GAIA インターシップ	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
インカレセンターコート	高島 杏奈	TEAM Sun GAIA インターシップ	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
インカレセンターコート	加藤 敦丈	TEAM Sun GAIA インターシップ	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
インカレセンターコート	大友遼平	TEAM Sun GAIA インターシップ	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
インカレセンターコート	卯都木奎斗	TEAM Sun GAIA インターシップ	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
インカレセンターコート	奥山貴斗	TEAM Sun GAIA インターシップ	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
インカレセンターコート	苅谷桂太	TEAM Sun GAIA インターシップ	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
インカレセンターコート	中田茉以子	TEAM Sun GAIA インターシップ	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
インカレセンターコート	大久保菜奈	競技アシスタントチーム	土浦第三中学校
インカレセンターコート	入真地亜衣	競技アシスタントチーム	土浦第三中学校
インカレセンターコート	岩井茜奈	競技アシスタントチーム	土浦第三中学校
インカレセンターコート	武石沙織	競技アシスタントチーム	土浦第三中学校
インカレセンターコート	直井瞳	競技アシスタントチーム	土浦第三中学校
インカレセンターコート	本多里奈	競技アシスタントチーム	土浦第三中学校
インカレセンターコート	市川あやめ	競技アシスタントチーム	土浦第三中学校
インカレセンターコート	近藤里菜	競技アシスタントチーム	土浦第三中学校
インカレセンターコート	森田真依	競技アシスタントチーム	土浦第三中学校
インカレセンターコート	和田敦美	競技アシスタントチーム	土浦第三中学校
インカレセンターコート	谷脇茜	競技アシスタントチーム	土浦第三中学校
インカレセンターコート	鶴田早紀	競技アシスタントチーム	土浦第三中学校
インカレセンターコート	永堀千夏	競技アシスタントチーム	土浦第三中学校
インカレセンターコート	齊藤遙香	競技アシスタントチーム	土浦第三中学校
インカレセンターコート	清水織	競技アシスタントチーム	土浦第三中学校
インカレセンターコート	梁島さき	競技アシスタントチーム	土浦第三中学校
インカレセンターコート	池邊咲	競技アシスタントチーム	土浦第三中学校
インカレセンターコート	折原志帆	競技アシスタントチーム	土浦第三中学校
インカレセンターコート	長谷川綾	競技アシスタントチーム	土浦第三中学校
インカレセンターコート	葩島彩花	競技アシスタントチーム	土浦第三中学校
インカレセンターコート	秋田衣里佳	競技アシスタントチーム	土浦第三中学校
インカレセンターコート	鈴木麻衣子	競技アシスタントチーム	土浦第三中学校
インカレセンターコート	須藤彩香	競技アシスタントチーム	土浦新治中学校
インカレセンターコート	岡田麻希	競技アシスタントチーム	土浦新治中学校
インカレセンターコート	岩瀬真理	競技アシスタントチーム	土浦新治中学校
インカレセンターコート	飯島真優	競技アシスタントチーム	土浦新治中学校
インカレセンターコート	荻原直美	競技アシスタントチーム	土浦新治中学校
インカレセンターコート	岩瀬沙耶香	競技アシスタントチーム	土浦新治中学校
インカレセンターコート	杉田怜香	競技アシスタントチーム	土浦新治中学校
インカレセンターコート	川尻みなみ	競技アシスタントチーム	土浦新治中学校

セクション名	氏名	役職	所属
インカレセンターコート	浅見莉那	競技アシスタントチーム	土浦新治中学校
インカレセンターコート	諏訪智章	競技アシスタントチーム	土浦新治中学校
インカレセンターコート	小口留美	競技アシスタントチーム	つくば秀英高校
インカレセンターコート	肝付由紀恵	競技アシスタントチーム	つくば秀英高校
インカレセンターコート	岡村怜佳	競技アシスタントチーム	つくば秀英高校
インカレセンターコート	藤倉彩香	競技アシスタントチーム	つくば秀英高校
インカレセンターコート	小林美保	競技アシスタントチーム	つくば秀英高校
インカレセンターコート	宇津野沙織	競技アシスタントチーム	つくば秀英高校
インカレセンターコート	松澤美緒	競技アシスタントチーム	つくば秀英高校
インカレセンターコート	櫻井菜里	競技アシスタントチーム	つくば秀英高校
インカレセンターコート	小野芽依	競技アシスタントチーム	つくば秀英高校
インカレセンターコート	大久保早彩	競技アシスタントチーム	つくば秀英高校
インカレセンターコート	宇津野美咲	競技アシスタントチーム	つくば秀英高校
インカレセンターコート	横田純乃	競技アシスタントチーム	つくば秀英高校
インカレセンターコート	小菅玲奈	競技アシスタントチーム	つくば秀英高校
インカレセンターコート	松田朝子	競技アシスタントチーム	つくば秀英高校
インカレセンターコート	溝口志織	競技アシスタントチーム	つくば秀英高校
インカレセンターコート	中川正典	競技アシスタントチーム	つくば秀英高校
インカレセンターコート	斎藤珠里	競技アシスタントチーム	つくば市手代木中学校
インカレセンターコート	高野美鈴	競技アシスタントチーム	つくば市手代木中学校
インカレセンターコート	成島有美	競技アシスタントチーム	つくば市手代木中学校
インカレセンターコート	斎藤美優	競技アシスタントチーム	つくば市手代木中学校
インカレセンターコート	伊藤真優	競技アシスタントチーム	つくば市手代木中学校
インカレセンターコート	大久保綾	競技アシスタントチーム	つくば市手代木中学校
インカレセンターコート	斎藤真優	競技アシスタントチーム	つくば市手代木中学校
インカレセンターコート	戸田夕里花	競技アシスタントチーム	つくば市手代木中学校
インカレセンターコート	橋 光	競技アシスタントチーム	つくば市手代木中学校
インカレセンターコート	高野未沙紀	競技アシスタントチーム	つくば市手代木中学校
インカレセンターコート	会田葉月	競技アシスタントチーム	つくば市手代木中学校
インカレセンターコート	渡邊悠紀	競技アシスタントチーム	つくば市手代木中学校
インカレセンターコート	佐藤早希	競技アシスタントチーム	つくば市手代木中学校
インカレセンターコート	市川友梨奈	競技アシスタントチーム	つくば市手代木中学校
インカレセンターコート	土居千春	競技アシスタントチーム	つくば市手代木中学校
インカレセンターコート	富田良一	競技アシスタントチーム	つくば市手代木中学校
インカレセンターコート	高島好実	競技アシスタントチーム	つくば市手代木中学校
インカレセンターコート	長谷川春菜	競技アシスタントチーム	土浦第六中学校
インカレセンターコート	廣木菜美	競技アシスタントチーム	土浦第六中学校
インカレセンターコート	小倉育穂	競技アシスタントチーム	土浦第六中学校
インカレセンターコート	馬込睦美	競技アシスタントチーム	土浦第六中学校
インカレセンターコート	近藤由佳	競技アシスタントチーム	土浦第六中学校
インカレセンターコート	柴山佳子	競技アシスタントチーム	土浦第六中学校
インカレセンターコート	菅原千聖	競技アシスタントチーム	土浦第六中学校
インカレセンターコート	森田菜穂	競技アシスタントチーム	土浦第六中学校
インカレセンターコート	川裾由佳	競技アシスタントチーム	土浦第六中学校
インカレセンターコート	雨宮美華	競技アシスタントチーム	土浦第六中学校
インカレセンターコート	長谷川香菜	競技アシスタントチーム	土浦第六中学校
インカレセンターコート	梶山瑠奈	競技アシスタントチーム	土浦第六中学校
インカレセンターコート	坂本茜	競技アシスタントチーム	土浦第六中学校
インカレセンターコート	池澤はるか	競技アシスタントチーム	土浦第六中学校
インカレセンターコート	日野原晶弘	競技アシスタントチーム	土浦第六中学校
総合戦略	中泉誠子	リーダー	つくばユナイテッドVOLLEYBALL
総合戦略	梶原健作	実行委員	筑波大学体育専門学群
総合戦略	倉本崇行	実行委員	筑波大学体育専門学群
総合戦略	衛藤拓磨	実行委員	筑波大学体育専門学群
総合戦略	鈴木諒	実行委員	筑波大学理工学群
総合戦略	山田快	山田運輸リーダー、パフォーマンス対応	筑波大学科目等履修生
総合戦略	傍島崇史	スタッフ対応	筑波大学大学院
総合戦略	山口誠	運搬リーダー、Vリーダー対応リーダー	筑波大学大学院
総合戦略	関桃子	総合インフォメーション、環境対策	筑波大学国際総合学群
総合戦略	丹藤勝次	総合インフォメーション	筑波大学
総合戦略	塚本佳久	賄いリーダー	株式会社イセブ
総合戦略	高巢文子	パフォーマンス対応リーダー、スタッフ対応	つくば市体育協会
総合戦略	木曾雄介	山田運輸、賄いリーダー	筑波大学体育専門学群
総合戦略	埜口博司	ドクター	水戸赤十字病院
総合戦略	西野文衆	ドクター	筑波大学大学院
総合戦略	本橋裕子	賄い	つくば市バレーボール連盟
総合戦略	藤巻美穂	賄い	つくば市バレーボール連盟
総合戦略	飯島久美子	賄い	つくば市バレーボール連盟
総合戦略	木幡繁子	賄い	つくば市バレーボール連盟
総合戦略	石黒妙子	賄い	つくば市バレーボール連盟
総合戦略	大西正子	賄い	つくば市バレーボール連盟
総合戦略	青木ひろみ	賄い	つくば市バレーボール連盟
総合戦略	野崎たみ	賄い	つくば市バレーボール連盟
総合戦略	岡田芳子	賄い	つくば市バレーボール連盟
総合戦略	浅野富子	賄い	つくば市バレーボール連盟
総合戦略	阿部まゆみ	賄い	つくば市バレーボール連盟
総合戦略	鈴木由美子	賄い	つくば市バレーボール連盟
総合戦略	大西慧	賄い	つくば市バレーボール連盟
総合戦略	袴塚恵美子	賄い	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
プロモーション戦略	赤木貴雅	リーダー、2008東西インカレ特戦隊 隊長	つくばユナイテッドVOLLEYBALL
プロモーション戦略	外川広興	広報宣伝企画	筑波大学体育専門学群
プロモーション戦略	鈴木悠二	広報宣伝企画	筑波大学体育専門学群
プロモーション戦略	篠村矩行	広報宣伝企画	筑波大学体育専門学群
プロモーション戦略	佐々木恵三	広報宣伝企画	筑波大学体育専門学群
プロモーション戦略	藤原亮	広報宣伝企画	筑波大学体育専門学群
プロモーション戦略	藤野はるか	広報宣伝企画	筑波大学自然学類
プロモーション戦略	岩田岳大	広報宣伝企画、リサーチ部隊 隊長	筑波大学大学院
プロモーション戦略	宇木博明	警備特戦隊	つくば市
プロモーション戦略	南文男	警備特戦隊	つくば市
プロモーション戦略	東郷直幸	警備特戦隊	つくば市商工会
プロモーション戦略	木村明男	警備特戦隊	つくば市商工会
プロモーション戦略	浅野和男	警備特戦隊	つくば市商工会
プロモーション戦略	柴三千男	警備特戦隊	つくば市商工会
プロモーション戦略	苅谷三佐男	警備特戦隊	つくば市教育委員会スポーツ振興課
プロモーション戦略	山田英人	警備特戦隊	つくば市教育委員会スポーツ振興課
プロモーション戦略	濱田悠歩	広報宣伝企画	筑波大学体育専門学群
プロモーション戦略	阿部友幸	広報宣伝企画	つくばユナイテッドVOLLEYBALL

セクション名	氏名	役職	所属
プロモーション戦略	武村真理子	広報宣伝企画、特撮隊 隊長	筑波大学医学専門学群
プロモーション戦略	菅野昭	チケットブース隊 隊長	筑波大学
プロモーション戦略	牛尾仁美	広報宣伝企画、リサーチ部隊	筑波大学図書館情報専門学群
プロモーション戦略	小林梓	リサーチ部隊	筑波大学大学院
プロモーション戦略	岩谷理美	リサーチ部隊	筑波大学社会学類
プロモーション戦略	川崎真澄	警備特戦隊	筑波大学社会学類
プロモーション戦略	川上一貴	特撮隊	筑波大学図書館専門学群
プロモーション戦略	板橋悠	特撮隊	筑波大学図書館専門学群
プロモーション戦略	木下和樹	特撮隊	筑波大学図書館専門学群
プロモーション戦略	宮城亮太	特撮隊	筑波大学図書館専門学群
プロモーション戦略	米村 真由美	チケットブース隊	つくば市バレーボール連盟
プロモーション戦略	菅見寿江	チケットブース隊	つくば市バレーボール連盟
プロモーション戦略	中北 佳代子	チケットブース隊	つくば市バレーボール連盟
プロモーション戦略	守岩 若子	チケットブース隊	つくば市バレーボール連盟
プロモーション戦略	飯島 翠	チケットブース隊	つくば市バレーボール連盟
プロモーション戦略	加納 恵美子	チケットブース隊	つくば市バレーボール連盟
プロモーション戦略	佐藤 紀子	チケットブース隊	つくば市バレーボール連盟
プロモーション戦略	富樫 千穂	チケットブース隊	つくば市バレーボール連盟
プロモーション戦略	矢島 正美	チケットブース隊	つくば市バレーボール連盟
プロモーション戦略	高野 七重	チケットブース隊	つくば市バレーボール連盟
プロモーション戦略	柴 さだ子	チケットブース隊	つくば市バレーボール連盟
プロモーション戦略	須藤 葉子	チケットブース隊	つくば市バレーボール連盟
プロモーション戦略	木本 麻衣子	チケットブース隊	つくば市バレーボール連盟
プロモーション戦略	斉藤 萌	チケットブース隊	つくば市バレーボール連盟
プロモーション戦略	大久保 美佳	チケットブース隊	つくば市バレーボール連盟
プロモーション戦略	猪瀬 和枝	チケットブース隊	つくば市バレーボール連盟
プロモーション戦略	藪田 唯	チケットブース隊	つくば市バレーボール連盟
プロモーション戦略	上野 茉莉	チケットブース隊	つくば市バレーボール連盟
プロモーション戦略	稲垣 律子	チケットブース隊	つくば市バレーボール連盟
プロモーション戦略	稲垣 ゆかり	チケットブース隊	つくば市バレーボール連盟
プロモーション戦略	富田 絹枝	チケットブース隊	つくば市バレーボール連盟
プロモーション戦略	石黒澄子	チケットブース隊	つくば市バレーボール連盟
プロモーション戦略	杉山 恵子	チケットブース隊	つくば市バレーボール連盟
プロモーション戦略	岡本 辰志	チケットブース隊	つくば市バレーボール連盟
プロモーション戦略	磯谷 整	チケットブース隊	つくば市バレーボール連盟
プロモーション戦略	荒木 飛鳥	チケットブース隊	つくば市バレーボール連盟
プロモーション戦略	水谷 崇子	チケットブース隊	つくば市バレーボール連盟
プロモーション戦略	飯村 良枝	チケットブース隊	つくば市バレーボール連盟
プロモーション戦略	若生 正子	チケットブース隊	つくば市バレーボール連盟
プロモーション戦略	山浦 剛	チケットブース隊	つくば市バレーボール連盟
プロモーション戦略	川崎 隆	チケットブース隊	つくば市バレーボール連盟
プロモーション戦略	船橋 修	チケットブース隊	つくば市バレーボール連盟
プロモーション戦略	鮎川清美	チケットブース隊	つくば市バレーボール連盟
プロモーション戦略	小山 朝子	チケットブース隊	つくば市バレーボール連盟
プロモーション戦略	宮田由紀子	チケットブース隊	つくば市バレーボール連盟
プロモーション戦略	鈴木美奈子	チケットブース隊	つくば市バレーボール連盟
プロモーション戦略	荒木 弘	チケットブース隊	つくば市バレーボール連盟
プロモーション戦略	矢島 清一	チケットブース隊	つくば市バレーボール連盟
プロモーション戦略	戸田 昭彦	チケットブース隊	つくば市バレーボール連盟
プロモーション戦略	西本 健司	チケットブース隊	つくば市バレーボール連盟
プロモーション戦略	高山 径子	チケットブース隊	つくば市バレーボール連盟
プロモーション戦略	渡部 恵司	チケットブース隊	つくば市バレーボール連盟
プロモーション戦略	谷口祥子	チケットブース隊	つくば市バレーボール連盟
プロモーション戦略	卯都木照江	警備特戦隊	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
プロモーション戦略	稲葉とも子	チケットブース隊	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
プロモーション戦略	中山英樹	警備特戦隊	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
プロモーション戦略	中山多麻尾	警備特戦隊	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
プロモーション戦略	塚本昌代	チケットブース隊	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
プロモーション戦略	長山明美	チケットブース隊	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
プロモーション戦略	生稲千端子	チケットブース隊	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
プロモーション戦略	孫谷里美	チケットブース隊	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
プロモーション戦略	菅原ゆかり	チケットブース隊	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
プロモーション戦略	杉田いみ子	チケットブース隊	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
プロモーション戦略	滝沢江美	チケットブース隊	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
プロモーション戦略	小勝恵	チケットブース隊	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
プロモーション戦略	関口こずえ	チケットブース隊	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
プロモーション戦略	関口泰徳	チケットブース隊	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
プロモーション戦略	奥山清美	チケットブース隊	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
プロモーション戦略	菊池	チケットブース隊	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
プロモーション戦略	柴原徹	警備特戦隊	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
プロモーション戦略	高島恵子	警備特戦隊	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
プロモーション戦略	高島利行	警備特戦隊	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
プロモーション戦略	中田孝子	チケットブース隊	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
プロモーション戦略	荻谷卓司	警備特戦隊	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
プロモーション戦略	関口紗也香	TEAM Sun GAIAインターンシップ	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
プロモーション戦略	関口由佳	TEAM Sun GAIAインターンシップ	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
プロモーション戦略	小勝さやか	TEAM Sun GAIAインターンシップ	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
プロモーション戦略	滝沢愛香里	TEAM Sun GAIAインターンシップ	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
プロモーション戦略	滝沢愛香音	TEAM Sun GAIAインターンシップ	つくばユナイテッドVOLLEYBALL TEAM Sun GAIA
オークラ・スポーツピアガーデン	佐藤由法	園長	筑波大学、つくばユナイテッドVOLLEYBALL
オークラ・スポーツピアガーデン	富田周平	実行要員	筑波大学体育専門学群
オークラ・スポーツピアガーデン	安井勇誠	実行要員	筑波大学体育専門学群
オークラ・スポーツピアガーデン	山根孝之	実行要員、ステージ出演	筑波大学体育専門学群
オークラ・スポーツピアガーデン	篠村博之	実行要員	筑波大学体育専門学群
スピーアー・ベジータ	吉田大	実行要員	筑波大学大学院
1st ステージスペシャル	伊波周子	リーダー	NPO法人Dance Association Seeds
1st ステージスペシャル	林田佑樹	実行委員	NPO法人Dance Association Seeds
1st ステージスペシャル	小松原大平	実行委員	NPO法人Dance Association Seeds
1st ステージスペシャル	坂本清一	実行委員	NPO法人Dance Association Seeds
1st ステージスペシャル	倉持美香	実行委員	NPO法人Dance Association Seeds
1st ステージスペシャル	柏村依九美	実行委員	NPO法人Dance Association Seeds
1st ステージスペシャル	梅村莉帆	実行委員	NPO法人Dance Association Seeds
1st ステージスペシャル	沢辺直美	実行委員	NPO法人Dance Association Seeds
1st ステージスペシャル	岸田力	実行委員	NPO法人Dance Association Seeds
1st ステージスペシャル	津曲晴子	実行委員	NPO法人Dance Association Seeds
1st ステージスペシャル	村下幸弘	実行委員	NPO法人Dance Association Seeds
1st ステージスペシャル	松本夢乃	実行委員	NPO法人Dance Association Seeds